

門 3
 冊 1.351
 卷 10

明治三十八年
 十月廿一日

本日 國花萬葉志 卷之十二

▲北陸道 七箇國

一

此方乃陸小龍之國多級小陸居之
 云々乃氣乃天中乃北又年七月武
 内宿禰之國乃北又年七月武
 國乃陸居之云々乃氣乃天中乃北又年七月武

養後國 名列

養後國 名列
 養後國 名列
 養後國 名列

知行高八万五千九拾石

青心國小支那ありて小支那は
 救とてしす容自り小支那は
 暖小支那はありて今つ又小支那は
 是後乃名あり 由大死物

小湊之城當神山城

酒井親貞作忠門

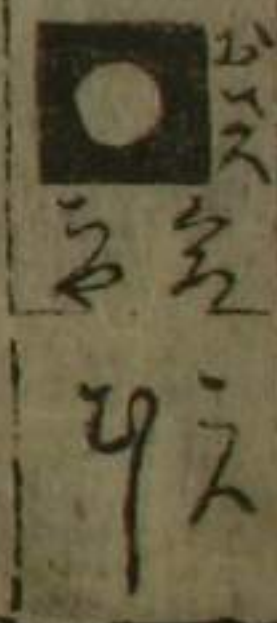
由知行十二万三千石
 山内空去井周防古辰
 江戸休屋敷 小日向
 日下 如さうす町日半込

小泉安房
 日 徳田
 漆 漆田
 名屋七九巻

京師の左近三祭大宮の西及び辰俣の地あり



二の宮より大宮



酒井親貞依忠門先知依國之...

▲山光酒井親貞依忠門先知依國之... 長六年後列田中... 四年武列川越先主... 忠之後相續... 十方石... 小濱... 日親貞依忠門...

當城先主の次子

當國者信吉武田義統領

木下氏勝後

後号長嘯

京極宰相善次

長五年... 列大

酒井俊政守忠勝

長十三年... 長十一年

隆程太支忠直

長八... 長三

日

是乃當山城主親貞依忠門の...

當四神社の記

遠敷大明神

▲祭神

上社 荒火の出見寺 下社 豊玉玉佛

一言記

▲社記 云々 皇甲子... 元正天皇

乃由皇天意元年乙卯九月十月... 西那の内靈河乃源白...

▲日紀 云々 出見寺 周防海神 安曇皇玉

物乃留海宮已... 長三年... 被處...

夜有... 情... 已下界... ▲按 豊玉

海神の女彦火出見寺書也 日本記 長...

▲神詠 皆人乃... 云々 神の神也

神乃神なり... 云々 神の神也

親見親主小長... 云々 長大明神

岸道大明神

上流大明神

常大明神

織田大明神

多田大明神

八幡宮

大坂... 長...

三五... 長...

日親... 長...

日親...

長...

長...

長久三年九月... 依八幡大明神

依八幡大明神

依八幡大明神

依八幡大明神

▲高四佛欄、於

神死寺

寺在於三三 道中の三三寺

此寺は古く年中に國中の夜更に於て
く起りて人あきく病ふぬすとの以て

松尾寺

林より山麓にありて此の寺は古く建
海人まかす観音の基なり

洋古寺

小浜に在り 建暦年中に建
刑基勢観坊とて源を上人の才あり

西光寺

津古 寺在り
木下長壽建三寺松月山今

常高寺

津古 寺在り
築衣所 寺在り三百石

法源寺

津古 寺在り
町尻村に在り 後醍醐天皇御

妙光寺

津古 寺在り
開基日像上人建立
大飯船田中村に在り

▲日國中各所之記

長浜山

高四乃山海をたむる山なり
岩峯のりての山なり 寺あり 炭の積集

三形乃原

海をたむる原に三形海も山本の浦に
六形乃原の三方の原におきよまき此の原の花は

三形乃海

名原に在りてあり

泉立山

小浜 山あり 黒橋

▲高四小浜、越前國敦賀と乃法

高四

高四小浜、十八里

▲高四乃原、海をたむる原に三形海も山本の浦に

▲高四乃海、名原に在りてあり

▲泉立山、小浜 山あり 黒橋

▲高四小浜、越前國敦賀と乃法

▲高四乃原、海をたむる原に三形海も山本の浦に

▲高四乃海、名原に在りてあり

▲泉立山、小浜 山あり 黒橋

▲高四小浜、越前國敦賀と乃法

▲高四乃原、海をたむる原に三形海も山本の浦に

穀類の山谷及び多々の海の邊分と一里
 穀類の湯川と一里正田湯川、少々の
 常のくびの是が未越前を、多々の

▲最後四名物出所

▲白木 ▲赤木 ▲藤藜子 ▲蓮肉
 ▲香附子 ▲厚朴 ▲石斛 ▲辛灰 ▲石灰
 ▲後境 ▲板木 ▲揚枝木 ▲熊川梓木
 ▲紙栴 ▲小濱酒 ▲同業 ▲尾崎紬
 ▲指履 ▲外濱目指奥 ▲尾崎紬
 ▲小松原ツクス ▲鼻打綿 ▲鶯蝶
 ▲燕絨 ▲耳徳貝 ▲紬 ▲尺八馬絨
 ▲大樽子 ▲絹 ▲喜世衣
 ▲厚紙 ▲名田の皮 ▲黒幕石
海邊にあり ▲煮之兒
味方

▲右最後四方以上

大日か北陸道 七ヶ國

越前國 戎類
 大後十二郡、而山三月
 山、而、海、新

▲大野 ▲坂井 ▲今立 ▲足利
 ▲吉田 ▲坂水 ▲南條
 ▲丹生有
 ▲今立 ▲足利

知行高六拾八方貳千六百石
其乃國の越前加賀能登越中越後なり

富田福井 富田 城下
江戸分海尾

松平 大納言昌明
江戸分海尾

由内室森伯の記
 江戸分海尾
 村上三右衛門
 日吳服所

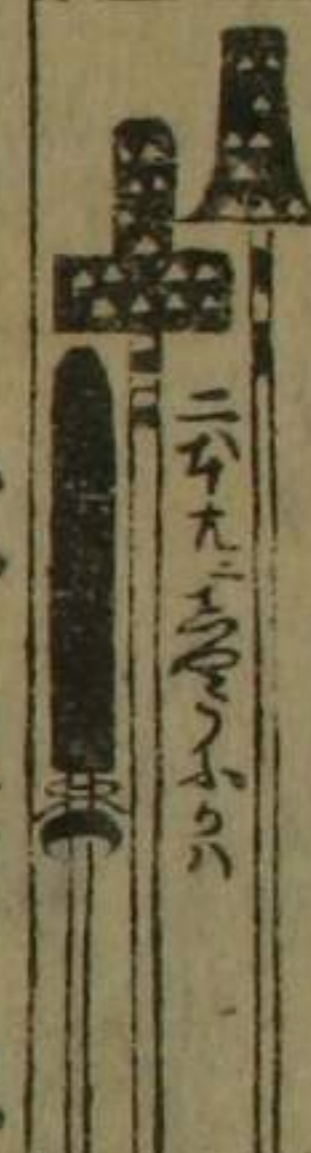


二九七



内居 之天又和平大張之走之男
松平監物昌盛 後四位下
内四宮 被前女將綱宣娘

被伯松山吉房



押、
太田 氏

▲先知沖任國ノ次子

▲先光春河内中納言秀康口内次男松平信隆守
忠昌元和二年任列松代之為城之日 十二万石
▲元和五年同日被任國之為城之日 十四万石
▲元和九年同日被任國福井之為城之日 五十三万石
▲同日被任石光通 四十五万石 他七万石 由是日
▲延享二年同日被任左輔昌親 四十二万石
▲延享四年同日被任右輔昌親 四十二万石
▲延享四年同日被任昌親 四十二万石
▲昌親 今政明トアリ 為再川城之 二十五万石

▲富城先主ノ次子

當國者朝念善景也

宋田終理亮勝家

丹羽五郎左衛門長秀

堀 久之而秀政 十方石

同 左衛門督秀隆

善本紀伴忠

中納言秀康死

宰相忠直死

松平伴依忠忠易

同 越前守光通

同 兵部大輔昌親

同 越前守

同 兵部左輔昌親

同 府中之城

倭尾常力以吉時

中納言秀康卿持分

同 丸岡之城

有馬左衛門被永純

知新立万三石



東海道百二十四里余
北陸道百四十三里

日 湯本寺
龍 秋民

内田宗瑞叔法橋高俊
江戸浦島坂 小町
同下ゆき 同あきか
系叔内田宗直 宗直孫本十七歳之辰 松浦史房
兵衛所 衣棚在寺町先
千石七石
松浦史房



内田宗直 宗直孫本十七歳之辰 松浦史房
九年日向園練 乃松之 立方三石 同左松乃松
法純 同右 一元禄八年 同左松乃松永純
外園在松乃松城之 同右

▲有馬氏家系

藤原政純 修陸兵衛 康純 左衛門佐 永純 周防守 左衛門佐

女子二人 女子二人
本多内記正室 大村内膳守室
秋本越前守室 阿部主税室

▲出城先主之次男

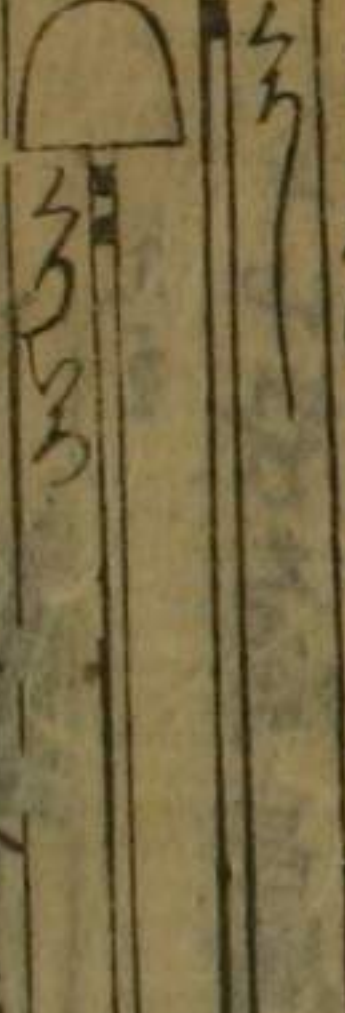
本多飛源守康重 四百六十石 享和五年
日 法橋守 同右
日 飛源守重勝 同右
日 飛源守重盛 同右
日 飛源守重純 同右
享和五年 九月九日 元禄五年

日 大野之城

江戸 東海 百四十里
中仙 百四十里
北陸 百一十里

大井甲斐守利治

江戸 内宮 福系丹後守康
中 如き町
下大野 中山 同本庄
海野 兵衛
宝野 守重



利治先主 大井大快 利勝 三男 大井康也 也
利治 天和二年 越前守 大野 乃松 乃松
四百石 同甲斐守 利治 利治 乃松 乃松
▲右ノ内宮系 肥前守 康 乃松 乃松 一系

▲當城先主之次男

中仙 乃松 乃松
江戸 乃松 乃松
秀麻呂 乃松
松平 大和守 直基
松平 但馬守 直高
松平 若狭守 直明
大井 乃松 乃松 乃松
是乃松 乃松 乃松 乃松 乃松 乃松

日 松島之城

江戸 乃松 乃松 乃松 乃松 乃松 乃松

保名祖父三河英門秀康卿
祖父宰相伴与忠昌父松平忠房
左衛門尉母後松平氏忠房之妹

松平内近頭

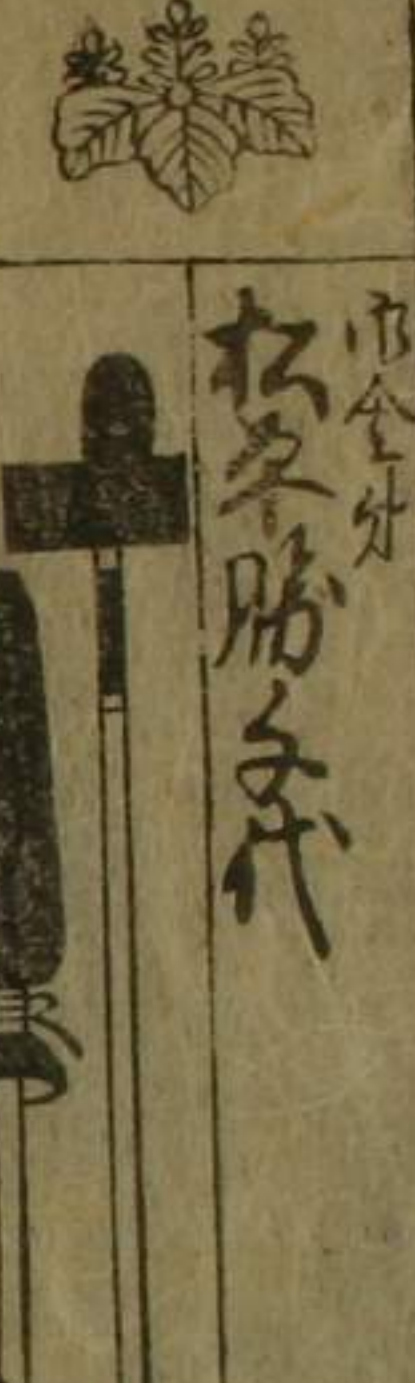
池田形五万石
山内室 由美系遠江守母
江戸近衛家清茶格外
日中 同下

中根剛了房
松平江房

池田氏
生駒平内
生駒孫次房



名通
元



馬

▲池田氏
松平中將左衛門昌勝
是右衛門城主

同 勝山 水鏡

小笠原古作貞信
池田形三万三石

寂并新右馬
伴 忠房

池田氏
同下 中居大守

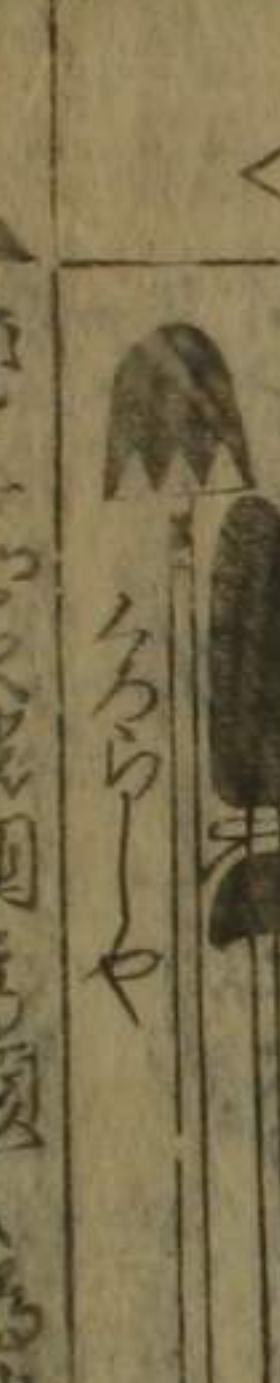
小
池田氏



池田氏

小笠原大學信辰
池田氏

馬



池田氏

池田氏知美濃國守頃く為水鏡三万三石
元禄四年越前同勝山く為高直城主 日守
池田氏是右衛門小舎之次一系

富田神社之敷

▲祭社一座 仲哀天皇 一宮祀
新田乃神皇ハク使同神乃ハ幡ハ義神
天皇乃高徳天皇乃神ハ仲哀天皇乃孫
座方ハ凡士祀 ▲池田 貞親元年二月
廿七日從一位 神階祀

▲又云富田ハ仲哀天皇乃此高徳天皇乃
同神乃ハ天皇御孫永行奉乃時神皇
建ク富田氏ト云神切御孫十二年
鳥羽天皇乃時令神皇御孫ト云

是羽大御神
是神能云

是羽大御神
是神能云

祭神一應 继神天皇也

继神天皇五世乃孫也或統の月一統の
 惠神乃孫と云ふ二流也云々
 神子云々云々云々云々云々云々云々
 乃又云々云々云々云々云々云々云々
 秘世王と云ふ云々云々云々云々云々
 神乃父なりと云々云々云々云々云々
 或は神乃孫と云々云々云々云々云々
 村大連物部孫麻呂大連巨勢野人
 長等继神と云ふ云々云々云々云々
 孫は金村と云ふ云々云々云々云々
 而後一多河歳八十八歳と云々云々
 近し後又同乙卯不遷月後又久麻呂
 延徳天皇不遷月云々云々云々云々
 云々云々八十二冬盛野陵不葬也
 是神乃孫也云々云々云々云々
 云々云々天皇八十八歳と云々云々
 礼云々云々云々云々云々云々云々
 云々云々天皇と云々云々云々云々
 紀ふ云々云々云々云々云々云々

神明

福井三之 社在石 別當福壽院
 當社八幡宮及云々云々云々云々

中八口云々云々云々云々云々

八幡宮

福井三之 山親町院永福四年
 九月後勅建云々云々云々云々

白山権現

大野三之 社在石 別當直泉寺
 當社白山山吹乃云々云々云々云々

同社

社在石 別當室室院
 天瑞宮 福井三之 天居元年 崇神乃云々

天瑞宮

福井三之 崇神院 云々云々云々
 當社ハ云々院仁治年中云々云々

牛引天王

福井三之 崇神院 云々云々云々
 從家院云々云々尾列津波院云々

高木神社

川合三之 崇神大己貴也
 本宿三之 當社云々云々云々

明神

日永山嶽三之 當社云々云々云々
 檀院乃云々云々云々云々云々

那志賀神社

年中に六月廿六日あり同廿八日云々
 云々云々云々云々云々云々云々

弊社の神

坂井三之 當社ハ云々云々云々
 昔乃云々云々天皇云々云々云々

越前之國氣比大明神



加賀之國白山大推現



▲當國佛閣之記

善後堂(白宗) 後醍醐院喜祿年中親鸞

上人建立之寺阿彌陀 慈覺大師作也

永平寺 曹洞 号吉祥山 古伝二百四拾石

後深草院 建長元年二建立小幡時教乃

修之開山乃光祿師 曹洞家祖傳之

林泉寺 曹洞 古伝二百石

灰日山寺 開山乃光祿師

長福寺 曹洞 福井三立 古伝六十石

西親町院 永朝倉義景建立之寺

大通寺 曹洞 大野三立

本城寺 長云 蒲原三立 古伝三百石

金剛院 長云 松山三立 古伝五十石

福壽院 長云 福井三立 古伝百石

泉泉寺 天台 大野三立 古伝二百石

一乘寺 天台 池上三立 古伝百石

觀音寺 天台 松江村三立 古伝五十石

大圓寺 天台 中村三立 古伝三十石

淨土寺 淨土 西川三立 古伝三十石

林光寺 淨土 後井三立 後醍醐院永朝倉義景上人

正福寺 淨土 上吉田三立 古伝六十石

西光寺 淨土 蘇町三立 古伝七十石

高亮寺 淨土 赤野三立 正親町院永朝倉義景上人

上妙寺 淨土 庵村三立 建長

法華寺 法華 福井三立 後醍醐院永朝倉義景上人

妙蓮寺 法華 大野三立 開基上人親鸞

▲當國名所之記

小波乃山 養老 古伝

百十古全吹水乃寺を以て此寺を以て我寺とす

淨山 山は西面を以て海及び南は禁之

名京 寺は山にありていふふを以て淨山とす

乃又白宮乃八重塔ありて淨山とす

乃淨山大宮とありてあり東地 梅

又淨山 淨山乃を以てありてあり

乃中山 淨山乃を以てありてあり

乃中山 淨山乃を以てありてあり

乃中山 淨山乃を以てありてあり

乃中山 淨山乃を以てありてあり

全条若山雪降りも多し... 秋葉 秋葉 秋葉

茨野

大野

小乃... 大野... 茨野... 秋葉...

あさく乃里

あさく乃里... 茨野...

南麻山

南麻山... 茨野...

舟飯の海

舟飯の海... 茨野...

実乃系

実乃系... 茨野...

あちま里

あちま里... 茨野...

浪乃系

浪乃系... 茨野...

おまの浦

おまの浦... 茨野...

おまの浦

おまの浦... 茨野...

おまの浦

おまの浦... 茨野...

おまの浦

おまの浦... 茨野...

おまの浦

おまの浦... 茨野...

おまの浦

おまの浦... 茨野...

おまの浦

おまの浦... 茨野...

今庄 乃及箱西近江橋東近江橋と云く二第
乃及ありありなる小島今庄と云下
あく出合の園にあり今庄と云下
乃及の庄近江の島乃及の庄と云く記きり

揚尾 一里
此乃及乃山吹より数と云は乃及乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

結波 一里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

府中 三里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

結波 一里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

結波 一里 又結波と云
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

浪生津 二里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

福井 一里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

舟橋 一里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

舟橋 四里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

舟橋 二里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

舟橋 二里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

舟橋 二里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

舟橋 二里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

越前國中名物出所之記
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

越前 一里
此乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹
乃及乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹乃山吹

為板 厚紙 連尺 半頭布 袴布
 刺織布 共層頭巾 蒲脚布
 菱 絹 胎綿 切石 常慶寺
 金澤 絹 葉文 中芳 根徳
 細代 竜裏 所 産 産 産
 紋 小荷 結 疋田 結 三國 結 日 結
 總 日 結 日 蒸 結 老海 龍 大 結
 丸 墨 素 勢 夕 夕 油 木

▲右以上越前國分也

大日本北陸道 七箇國之内

加賀國 加列

上管 加賀 加賀 加賀
 田 敷 方 三 又 百 三 十 六 町
 加賀 府 江 沼 能 美 石 川 河 山
 知行高 百 五 十 五 町 七 法 石

紀 三 云 滅 天 皇 乃 弘 仁 十 年 三 月 日 越 前 國
 三 郡 七 割 七 加 賀 國 寺 加 賀 八 於 各 也

當國金澤之城 如左 東海道 百 五 十 一 里 余
 中仙道 百 六 十 里
 北陸道 百 十 九 里 余

加賀宰相洞紀 正四位 宰相

洞 内 金 澤 保 科 肥 後 寺 辰 辰
 日 下 津 井 日 源 川
 日 下 津 井 日 源 川
 日 下 津 井 日 源 川



日 下 津 井 日 源 川
 日 下 津 井 日 源 川

松平勝次郎



日 下 津 井 日 源 川
 日 下 津 井 日 源 川

松平富太郎



日 下 津 井 日 源 川
 日 下 津 井 日 源 川

日 下 津 井 日 源 川
 日 下 津 井 日 源 川

前田 右御家系

菅原利家 中納言 利長 中納言 利常 中納言 光高 中納言

利高 大和守 利豐 左衛門 利次 左衛門 利治 左衛門

某帶刀 利廣 官内 利明 左衛門 利重 内記

女子 淺野内記 某 市左衛門 利重 内記 某 右近

女子 四人 某 市左衛門 利重 内記 某 右近

松平紀伊守室 八條殿 藤中 保科肥後守室 松平越中守室

細紀 加賀守 某 勝三郎 某 富五郎

女子 四人 某 勝三郎 某 富五郎

先主御代

大納言 利家

中納言 利長

松平肥前守利常

松平筑前守光高

松平加賀守細紀

當城主

大聖寺 津城主

松平飛騨守利重

四品

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

津城主

白山大権現

石川殿 又号妙理権現

別當

南四箇寺之内 昌澄寺 北四箇寺之内 隆明寺

當圓社之始

山古番允

中納言利長

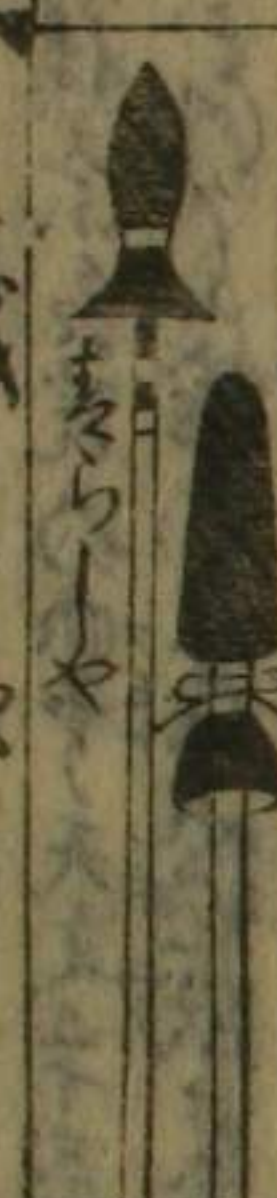
中納言利常

松平飛騨守利常

松平飛騨守利明

同 飛騨守利重

同



前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

前田采女

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

▲祭神 伴安兼子 上之社 菊理殿 一宮祀

此祭八幡安兼子安兼子乃由子之日本紀三有

▲靈應二年丙辰秋秋乃多之秋ハ高山乃

地之伴安兼乃岳岳乃又方乃止成小乞氣

取之云秋ハ白山乃捕作之小白山乃孫

又方乃成小乞氣取之云秋ハ白山乃孫也

即ち大已貴乃岳岳也云々 改曆記ハ

神位 夫親元年正月廿七日正三位 神階祀

▲白山云所控取乃神傳日本紀神社考

或ハ祭表祀多ハ秋秋乃今畧

小陰小陰座云々云々 秋秋一天小乞氣

蓋曰海小乞氣云々示現神乃其神中云云

▲後志云院乃由云天文二十三年五月白山岳

三ノノ嶽ニ藤小地獄取現す云々

全叙宮 空亦神天皇乃由云高國小岳

大祓文乃由方乃同内社造云云云々

又弘仁十四年云云云々 神社考

東照宮 社取千石 別當神護寺

八幡宮 全叙宮 後志云院の由云

天文年中小山松園石清水云八幡宮云云

亦小物傳云云云々云々

八幡宮 小松の町云 高社ハ物傳云

起東祥 高社乃其物小古其後別當

矣登乃云云云々云々

神明 全叙宮 老藏院由云云慶年

中ニ伝云云云云々云々 傳傳外乃由神云

亦小物傳云云云々云々 大聖云敷地云

大神 全叙宮 伏見院由云云永安年

天護宮 九月廿五日ニ山城國小野右近ニ傳ハ高社

乃具云云云云云 傳傳云云云云云

祇園社 全叙宮 高社ハ里云云云云

聖牛頭 夫王云物傳云云云云云

額西の神

額東の神

慈那持院

當國佛欄之記

天平寺

年中小景刻

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

佛欄

唐く天字年長火小なり又唐回非
建立と云

大衆寺 曹宗 全派立 開山乃元和尚建立

尚何小乃元和尚入唐此付一觀小書寫
久小物若嚴集乃書あり

洞松院 釋宗 全派立 海釋寺 釋宗 全派立

法雲寺 釋宗 全派立 大登山 釋宗 日所

正福寺 釋宗 日所 林光寺 釋宗 日所

行泉寺 釋宗 日所 万松寺 釋宗 日所

光雲寺 釋宗 日所 日所立 甘書 茶師如來

神交院 去去 日所立 尚小若回氏乃形取不云く天正年中再興

親音院 去去 日所 甘書 中親音乃基也

吉祥寺 去去 日所 又雲院 去去 石所立

本法寺 法法 全派立 後土山門院乃所云小

妙福寺 法法 全派立 正親町院天正身中立

西光寺 白宗 日所立 本寺 所派法法慈天正

淨光院 白宗 日所立

正光寺 白宗 日所立

正光寺 白宗 日所立

正光寺 白宗 日所立

加賀國中名所と云

白山 白山権現乃所云神社乃於此あり

あるなり山越お小なりより大なる山也其越

中商の飛騨城は正親町院の西にあり

山頂小なれば此と云く多しなり此山なり

立りぬが乃雲の浦の日おれ此白山乃雲の

浦の日おれ常僧不滅乃源常く云り故

素朴の書と書けりあり 一の云く此の云く

吾乃云く山房 松らの名 吾の下草

古今 清更町おけれ此越後白字乃名おまを云けり

後成 帯の丸中云の之巻巻縁の中は妹愛小なり

後成 越前乃東之全派乃希なり二里

道乃浦 余乃わか突乃橋なり道乃浦ハ入江あり

小乃浦 小乃浦ハわか突乃橋なり道乃浦ハ入江あり

と云く是乃云く乃云く乃云く乃云く乃云く

飛騨乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

松乃渡

是乃山乃中、夫亦多と云り

くららの池

或ハ石見感ハ然カト云リ、

高塚

松乃川入、松乃川の池、

中乃岸

是乃山乃中、夫亦多と云り

松乃川、是乃山乃中、夫亦多と云り

小陸道、新道、法、如、安、國、分

立花

大聖寺、二里

大聖寺

是乃山乃中、夫亦多と云り

月津

是乃山乃中、夫亦多と云り

小松

是乃山乃中、夫亦多と云り

粟生

是乃山乃中、夫亦多と云り

水沼

是乃山乃中、夫亦多と云り

松野

是乃山乃中、夫亦多と云り

松任

是乃山乃中、夫亦多と云り

野と市

是乃山乃中、夫亦多と云り

全沢

是乃山乃中、夫亦多と云り

津畑

是乃山乃中、夫亦多と云り

三里

是乃山乃中、夫亦多と云り

全澤、松野、松任、野と市、全沢、津畑、三里、

八左方小沼あり沼乃石ノ小森あり思津
舟あり下小森極と云あり

津畑

竹橋、一里

宿中川橋ありは良小森乃城あり
津と云宿乃た方、過分は能宅への海乃

竹橋

今いさるき二、三里

いさるか亥然中乃さるいあり
是より末乃宿ハ城中國ノ分記之

加賀國中名物出所

棉原 一 穀草 一 莞 一 手紙 一 緯指草

黒梅漆 一 雜眼物 一 菊洞 一 炭連 一 燕餅

白山梳篦 一 小松糸 一 同根糸 一 同好之

右加賀國分の上

大日本北陸道 七箇國之門

能登國 能登

中後四郡亦西二日也
田代八千七百七拾九町

能登府 羽咋 鳳玉 珠洲

知行高武橋寺方六ノ八百拾石

能登ノ八景者三年哉茶園字數と創とこれ
と直能登ノ八景乃居也 回事記

當國山崎

山中五百七十里

松平加賀守紀伊屋分

剛西

多井橋磨弓忠近 志方石
元禄八の別名只不ハ

能登國中神社之部

氣多社

郡中社 三 奈社 支院三リ

大己貴命 一宮元 天活玉命 下の魚照記

又此社越中國新津郡小一社よりす
又此社越中國新津郡小一社よりす

神明

白山神社

白山之社 當社ハ松老矣命の
白山之社 當社ハ松老矣命の

八幡宮
山崎 立
安徳元正天皇御遷幸の地社建立と云

▲富田佛樹之歌

不働寺
能宅院 立 光仁天皇御遷幸
乃皇子知徳上人乃景刹と云

惣持寺
松山 立 用山 立 兼保年中
惣持寺 曹洞 久次志 立 用山 乃元和南也

信小道元和南遷住持後當ち心永平寺
と兼持とありて藤一と倍り傳へ傳り

牙心院 津云
大所 兼保和年中建立 用山 波米上人
寺住 立

妙法院 津云
用山 月明上人 号法光山
後 兼保院 寺

蓮福寺 四宗
川尻 立 兼保年中
景刹中祖海元上人の中より兼保上人再興

▲富田中名所之歌

高洲山
兼保 乃乃山
兼保 乃乃山

宮城山
兼保 乃乃山

長湊乃浦
兼保 乃乃山

乃乃の海
兼保 乃乃山

角橋
兼保 乃乃山

久毛津
兼保 乃乃山

兼保乃後
兼保 乃乃山

兼保乃川
兼保 乃乃山

兼保乃山
兼保 乃乃山

兼保乃川
兼保 乃乃山

兼保乃川
兼保 乃乃山

兼保乃川
兼保 乃乃山

▲兼保國中名物出所

兼保乃川
兼保 乃乃山

兼保乃川
兼保 乃乃山

熊足或九万尺 繩門海 繩經若
和洛宗

石上能登國也

大日本北陸道 七箇國之内

越中國 越列
又穀熟機及一潔越國 田穀一万余二千九拾九町

砺波 村水 堀負 新川

知行高云格三方六千世七石

當 高山之城 又云外山 東海道百六十六里 中仙道百五十五里 下仙道百四里

當國者往昔作之陸奥也成政領之

松平大藏大補利之四 富田源五介

知行格一石

松平長門守利興 松平長門守利興 松平長門守利興

松平右近 松平右近 松平右近

前田氏領之 天正十三年方

松平陸路守利次 松平陸路守利次

松平大藏左補利之 松平大藏左補利之

越中國神社之類

三山権現 別當 岩倉寺

別當 芳倉寺

尚推現八武天聖右堂三年三月十日
教養聖人感流示現因之云云 尚四一宮也
氣多社 武吉流 願治社云云

祭社 大己貴命也 一宮也 天治出命 社社祀
日 延喜八年八月十六日乙卯 以越中國
氣多志社 氣多常 按此流則能列
氣多社 為天治出命也 啓蒙

▲即位 延喜三年三月十日 天治出命 社社祀
一夫也 社社一社乃云云 社傳云云
御下云云 在氣多社 一宮と稱す
蓋一之山推現と云は社乃謂之云云
そは別と云云

不動明王 俱兼地經社 是為社ハ八級
大か云乃愛作云の如く不動明王云云
社をり 冥魂あり云云 社ハ社社云云

八幡宮 恒生云云 為社ハ本乃長仲
平家退成乃為社小夷上リ 尚社ハ
社ハ社社退治乃社書云云 社ハ社社
社ハ社社退治乃社書云云 社ハ社社
二社 冥地云云 今ハ社社云云

天神 新川云云 為社ハ社社云云
乃云云 社社退治乃社書云云 社ハ社社
社ハ社社退治乃社書云云 社ハ社社
社ハ社社退治乃社書云云 社ハ社社

天王 奥津云云 為社ハ社社云云
社ハ社社退治乃社書云云 社ハ社社
社ハ社社退治乃社書云云 社ハ社社
社ハ社社退治乃社書云云 社ハ社社

▲當國中佛相之教

觀音堂 真言 寺山云云 文武天皇 入云云
中乃基乃原刻本云云 云云 觀音乃基他
大照院と号す

明王院 真言 黒川云云 尚云云 尚云云
乃云云 尚云云 尚云云 尚云云
乃云云 尚云云 尚云云 尚云云
乃云云 尚云云 尚云云 尚云云

松洞院 孫宗 富山云云 洞山 孫宗 尚云云
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

末福寺 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

法海寺 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

阿彌陀寺 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗
孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗 孫宗

越中之國高棟大明神



越後八彦大明神



緯如上人達立

越中四州各山記

川島山

名不集ニ出たり 伴頭記 磯波山

五九秋

五九秋ありて... 山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

卯花山

卯花山... 越中... 山に...

二上山

二上山... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

山

山に... 越中... 山に...

越中... 山に... 越中... 山に...

かまに

かまに海の塩たしむらりけんえとまの今とみ

ありと海浦 多知 馬 船より

いそれ浦 多知 船より

多胡乃浦 多知 船より

吹井乃淡 多知 船より

と乃淡 多知 船より

ありそれ淡 多知 船より

ふせれ海 多知 船より

ふせれ海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

いとの海 多知 船より

かまに

多知 馬 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

多知 船より

小陸道

多知

船より

竹橋 今より三里

宿中... 栗栢... 恒生八徳乃... 上の竹橋... 右の方面... 小天... 今より三里... 道より二筋あり...

中田道 九八里

岩波道 九十里

今より三里 中田、四里

今より三里 岩村、一里

花川 中村あり
川 古戸出 中ま
千保川 中田川を
并海し

岩村 福長、一里
福長 志野、一里

中田 志川、一里

志野 志長、一里

黒川 高山、三里

志長 高山、一里
た方に城あり... 二上山と云あり... 乃城と云... 西岩波... 左方... 赤岩... 大門川

廿六首... 花の... 兵取... 安楽坊... 小浜... あり... あり... あり...

た方に城あり... 二上山と云あり... 乃城と云... 西岩波... 左方... 赤岩... 大門川

富山 水橋、三里

富山... 老女堂... 赤井川... 赤井... 赤井... 赤井... 赤井...

水橋 なるり川、一里

なるり川、一里

晴川 奥津、二里

奥津、二里

奥津 三門市、三里

三門市 横山、二里

三門市 横山、二里

横山 ともり、一里

ともり ともり、一里

ともり ともり、一里

ともり ともり、一里

さうの 市ゆり、一里
 川あり越中代及乃さるたりたる本村
 是ら末く高、八越後國と分二紀と

▲高田清川、同日、さるき、淡色通法
 清川、若菜、三里
 若菜、若菜、三里
 放生、伏木、一里

伏木、伏木、一里
 宮山、宮山、二里
 宮山、坂野、一里
 坂野、坂野、三里

▲越中國中各物出所

▲塩硝 ▲粟 ▲急岩 白川系
 ▲八海布 ▲松波 松波系
 ▲世保小蛇 ▲糸 糸系
 ▲綿 ▲九万足

右越中國分


大日本小陸道 七ヶ國

越後國 越前國
 上後七ヶ國、
 山南、山南、海、海、

頸城 保野 三橋 奥沼
 蒲原 古志 沼田 磐松
 知行高田指三方六千石

高田之城 沖城
 江戸、七十二里
 日三國、九十一里

稲葉丹後守正通 松平
 此知乃十方三、石
 城内、保保科古胆、後宮、城
 江戸、城外、田、日下、下、宮
 日下、本、引、つ、ら、日、下、宮、

		
稲葉家守正通	松平	上月久三系
日三	日三	文城系一系
		
日三	日三	日三

升後守内全守
福系後河守正番七人



外之由
馬

三男
毛利外記依左史



同日友
馬

四男
福系紀伴守三喜



同日友
馬

六男
福系大學二喜



同日友
馬

六男
福林惣十郎



同日友
馬

▲福系丹後守心通先知行但守

▲左和以福系諸人道道内初列回九し

▲丹後福系丹後守心通先知行但守

▲法列言順誠心林系長勝正以

▲思世以林為氏之信福系作渡守正成

林 ▲稻葉氏御家系

越智通兼濃列清水城主

通祐左衛門尉

通村林佐渡守

通安林新左衛門

通以稻葉備守

通忠林河守

通政林駿河守

通富伊守

通勝林佐渡守

長正林市助

通朝伊守

通具林新九郎

正三林宗兵衛

貞通法名一鉄

正成稻葉佐渡守

正勝稻葉丹後守

信通能登守

正則美濃守侍從

正通丹後守

某庄右衛門

正喬出羽守

女子非甲斐守室

景通右京亮

女子堀田筑前守

女子松平隱岐守室

某市正

某毛利外記

某守右衛門

某能登守

某稻葉玉水

女子織田越前守

某廢六

某紀伊守

女子松平隱岐守

某林惣十郎

某稻葉大學

女子松平隱岐守

某林惣十郎

▲當城先主之次男

當國姓古上秋輝景勝領之

越後國主 村上越後 堀江忠晴 秀治 年五
各為五力

同 日 越後守忠俊 後林 松平

共長十五年 堀江忠晴 忠俊 代後 佐列 飯山

松平上総介忠輝 共長十五年 十方石 元和二年 五

酒井左馬尉 忠成 同 五方石 佐列 代後 飯山

中納言 同 宮内太輝 忠勝 同 五方石 佐列 代後 飯山

松平 依孫守忠思 同 九方石 佐列 代後 飯山

當城主 松平 越後守忠光 共長十五年 十方石 貞享二年 五

編集丹後守正通

長岡之城 水城

江戸全三國 陸上 粟四丁 佐列 代後 飯山

牧野 越後守忠邦 依孫 乃 七方石

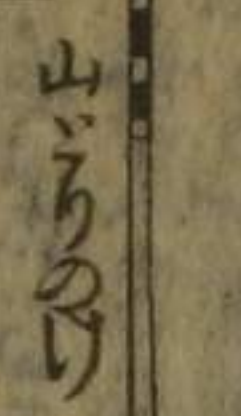
箱垣 平助 牧野 依孫 乃

水田 越後守忠一 依孫 乃 七方石

秋山 了房 箱垣 指久

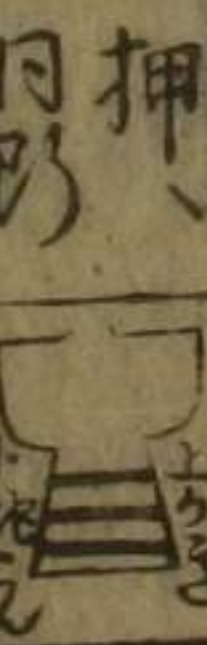
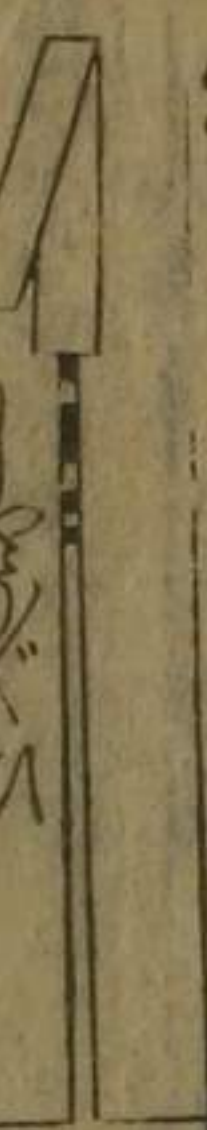
江戸 水田 越後 西のくわ 中 あり あり 下 あり

比之 地 元 比之 比之



牧野勝三郎

全 又 乃 乃



存し 水田 系 佐列 國 高 牧野 依孫 乃 七方石 一系也 自 水田 越後 守忠一

城 主 代 乃 次 氏

堀 左馬 越後 守忠一 依孫 乃 七方石

堀 越後 守忠一 依孫 乃 七方石

松平 上総 介 忠輝 依孫 乃 七方石

堀丹 後守 忠成 依孫 乃 七方石 元和二年 八方石

牧野 右馬 越後 守忠成 依孫 乃 七方石 同 四年 同 守 村 上 乃 七方石

牧野 越後 守忠成 依孫 乃 七方石

牧野 越後 守忠成 依孫 乃 七方石

當城主

新谷田城 水城

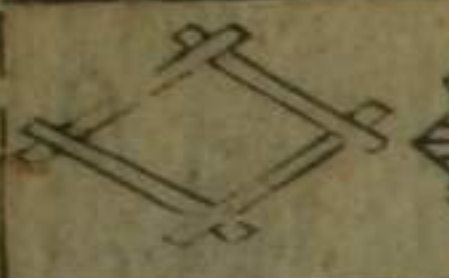
江戸 全 三國 陸上 粟四丁 佐列 代後 飯山

溝口 依孫 守忠一 依孫 乃 七方石

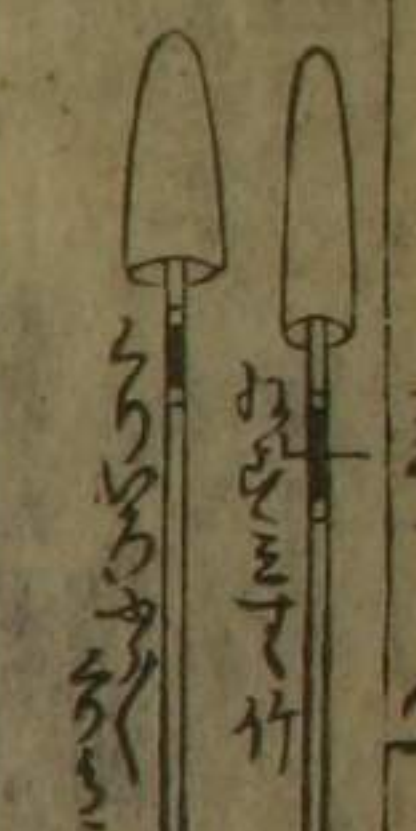
溝口 内 近

江戸 全 三國 陸上 粟四丁 佐列 代後 飯山

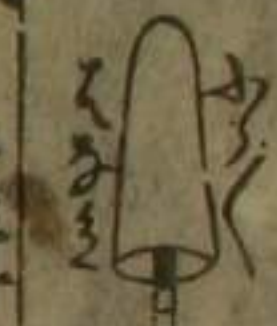
堀 依孫 守忠一 依孫 乃 七方石



堀 依孫 守忠一 依孫 乃 七方石



溝口伯耆守宣美



▲溝口氏御家系

源秀勝 伯耆守 宣勝 伯耆守

政一 信守 政勝 佐守

政胤 信守

其 常力

其 又三郎 伯耆守

女子四人 稻葉能登守室 備井石見守室 松平駿河守室 宗 右京大夫室

宣直 出守 女子二人 市橋下總室 溝口修理室

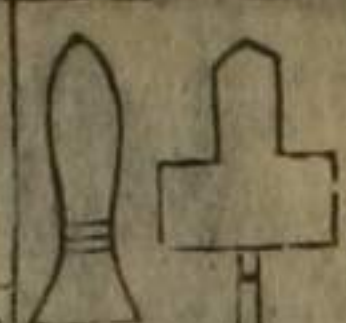


▲先和代、溝口氏為高直城也
● 溝口伯耆守秀勝 享長三年分六万石
● 伯耆守宣勝 五万石外一万石身 任皇宮右衛門尉
● 出雲守宣直 同言
● 信濃守宣廣 同言

日本庄之城

林原式部左衛門尉 宣勝 系四

山内室松平信法与信 如戶信屋敷小石川 同中下谷治の(子) 同下 河川強兼所



奥州延九十九里 三國延百一里三丁 中振長治 任志人 村上初良 竹田十郎乃 本戸又屋敷 枝村武夫 小又納地 三入 不

▲物松平式部左衛門尉忠次寛永廿年奥州而川 為城也 七万石 ▲松平安二年同播磨河内 為城也 十五万石 ▲林原刑部左衛門尉政房相 後為城也 同言 ▲寛文七年同式部左衛門尉 初名号忠次初後及村上為城也 同言 同式部 左衛門尉政房相後為城也 同言

源清長

忠政 出羽守

忠景 伊予守 早世

康勝 遠江守 早世

女子三人 酒井雅未公室 松平武藏守室

政倫 熊之助 式部太輔

勝乘 虎之助 忠文伊織 式部太輔

女子 松平拱淳守室

長政 右衛門尉

忠次 式部太輔

政房 刑部太輔

康政 式部太輔

源清長 友南門尉

▲先主に次ぐ

村上周防守

堀丹後守直壽

同 兵部少輔直次

同 千之丞直定

同 本多能心守忠義

同 松平大和守直能

同 林原式部左輔直徳

同 式部左輔勝宗

同

當城主

同

村松氏

堀左京亮直利

同

同

同

同

堀式部直虎

久野直虎

堀内直虎

山崎直虎

同下

山崎直虎

右堀氏

山崎直虎

菅原直政

直寄

直時

直吉

直利

直之

直景

直良

直虎

直利

某三衛門

直行

某

某

右堀氏に家系係り次坂に姓を同國飯田

姓者堀久吉而高及天正十一年分記別産

根(堀)為(堀)又(堀)為(堀)并(堀)為(堀)之(堀)

同(堀)下(堀)又(堀)長(堀)十五年同(堀)子(堀)母(堀)直(堀)平

依(堀)別(堀)領(堀)少(堀)後(堀)三(堀)百(堀)石(堀)元(堀)和(堀)二(堀)年(堀)依(堀)後(堀)國

長(堀)長(堀)西(堀)條(堀)三(堀)百(堀)石(堀)同(堀)四(堀)年(堀)同(堀)國(堀)村(堀)三(堀)百(堀)石

十(堀)百(堀)石(堀)同(堀)去(堀)船(堀)渡(堀)直(堀)次(堀)同(堀)中(堀)直(堀)次(堀)直(堀)次(堀)九(堀)百(堀)石

依(堀)後(堀)為(堀)堀(堀)直(堀)保(堀)永(堀)年(堀)中(堀)及(堀)依(堀)堀(堀)直(堀)次(堀)代(堀)為(堀)為

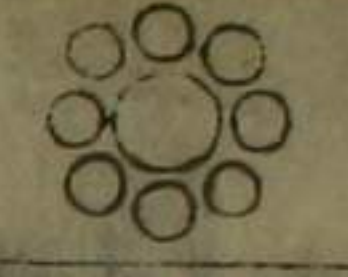
依(堀)直(堀)也(堀)依(堀)後(堀)堀(堀)直(堀)民(堀)直(堀)保(堀)永(堀)年(堀)中(堀)及(堀)依(堀)堀(堀)直(堀)次(堀)代(堀)為(堀)為

堀直坂

堀直坂

堀直坂

堀直坂

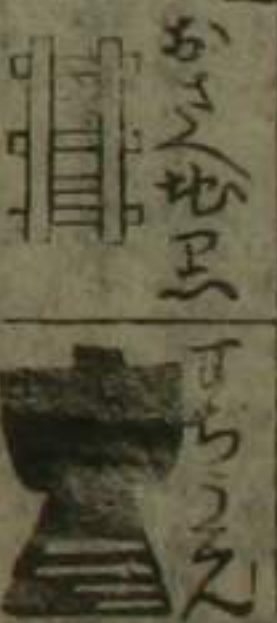


其又... 牧師用防宮... 此知... 山下

牧師... 其本...



右ノ... 一ノ...



當國神代官

設樂孫系 鳥山牛也 大尾孫系 三島場新太馬

越後國神社之記

伊賀神社

伊賀神社... 天壽信山... 元明天皇... 兼和十年六月... 額之石...

愛宕権現

南社山城國... 社領二百石... 別當...

八幡宮

府中... 社領百石... 外記...

同社

下志村... 社領八十石... 社領...

同社

下志村... 社領八十石... 社領...

西奈孫神社

社領... 社領...

熊野権現

社領... 社領...

當國佛欄ノ記

毘沙門堂... 五智山... 乙大日如來... 本山...

赤山薬師... 中城寺... 香光寺... 浦花...

浦花... 香光寺... 浦花...

圓上寺 真言

浦花立

古殿百石

永徳寺 真言

柳橋立

古殿廿石

神宮寺 真言

杉木村立

古殿百石

開福寺 真言

浦系教中村立

古殿百石

石雲寺 真言

高松村立

古殿廿石

常光院 真言

高島立

古殿三十石

常圓寺 真言

高島立

古殿百石

吉祥寺 真言

高島立

古殿廿石

安養院 真言

高島立

古殿廿石

蓮花寺 真言

三橋立

古殿十石

林光寺 真言

林立

古殿廿石

洞松庵 真言

洞松村立

古殿八石

必來寺 真言

必來村立

古殿十三石

西傳寺 真言

深田立

古殿十三石

淨光院 真言

村上立

古殿八石

善法寺 真言

小松村立

古殿廿石

法照寺 真言

吉川立

古殿七石

淨祥院 真言

大原村立

古殿七石

禪念寺 真言

飯成村立

古殿百石

光源寺 真言

小島立

古殿十二石

法華寺 真言

高田立

古殿百石

妙興寺 真言

久保村立

古殿十二石

妙福寺 真言

浦系教中村立

古殿七石

備前寺 真言

備前立

古殿七石

法華寺 真言

法華立

古殿七石

武後國新所

武後國新所 武後國新所 武後國新所

武後國新所 武後國新所 武後國新所

武後國新所 武後國新所 武後國新所

武後國新所 武後國新所 武後國新所

武後國新所 武後國新所 武後國新所

武後國新所 武後國新所 武後國新所

武後國新所 武後國新所 武後國新所

山陰道高次乃法通國之分

市場り、一里

親志す、三里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

味、一里

小田切方 一里 冥川

取らば別名は... 任りし所と云ふ

冥川 一里 野尻

川を越せば... 冥川

尾の末より... 冥川

▲富田村上方奥列白川通る

村上 二里半 車村 二里半

加治 二里 守代 一里

天後 一里半 竹山 一里半

聖光 一里半 聖光 二里半

たぐ 一里 長松 一里

あす 一里 ふく 一里

長溪 一里 東の山 一里

▲富田を凡が振津越

▲市ゆり 一里 市ゆり 一里

▲市ゆり 一里 市ゆり 一里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

▲山乃洞 六里 山乃洞 六里

松平云南へ行 ありては入るなりなり
名川ゆきせもよこを石とよ切き
ありおろし いり

あつこ 浦野、六里
浦野、上田、三里

右記

△越後國名物出所

沿、漆、蠟燭、白糸、白萩、網干
松山白布、富澤、糸山、美濃、出丸、素直
いり別、身浦、油、比、八月、結、備、西、直、記

右越後國分坐

大目守小懐道 七角圓高

作渡回 佐別

中管三船、四方、舟、米
早木、比、子、船、是、牛、子
若、比、子、船、是、牛、子
田、比、子、船、是、牛、子

羽衣 雜志 賀茂 上々

無行多二万又百九拾石

當國小木 江戸、陸、北、八、里、北、四、丁
日向、雲、海、八、里、北、八、里

沖代官 萩原彦部 如行
三、石、當、務、並、成、成、成

△當國神社之始

渡津社 羽衣、船、三、石

祭神 崇徳神 大邑貴命兄之一官化
日本紀系解し言云 欽の帝五年十月 越國

云、左、度、將、北、津、名、船、一、磯、岸、小、船、之、肅、慎
人、あり、一、乃、船、小、の、り、そ、ま、り、長、夏、矣、と
ま、あ、り、て、食、小、充、く、れ、將、人、の、云、信、人、ふ、り、す
亦、冠、冠、あり、し、備、て、敷、之、近、行、す、將、北、津
馬、島、里、乃、久、推、子、と、推、く、熱、く、る、ん、と、す
灰、乃、よ、小、船、く、そ、皮、甲、と、焼、り、仰、て、こ、の、入、と
白、り、と、火、乃、上、小、船、あ、り、ら、し、一、尺、餘、許、か、り
時、公、修、く、相、國、邑、乃、久、海、く、以、く、天、年、等
左、て、庭、の、地、又、あ、り、と、く、相、國、と、や、ま、す
人、あ、り、と、く、長、く、云、此、邑、乃、久、号、か、あ、り、す、越

居乃乃の遠慮ありんかすして云の如
 く抄録らうるに於て浦佐乃入乾波川
 乃浦佐乃浦乃作散忍人改てらうつす
 乃てこもと飲死るるに因事たりて
 日とを起為るるを子入十種神と附て
 屋廻小のりとの物先又十種神と附て
 付不多小樹種瓜のくふりしに於て韓
 地不地まふすく抄録らうるに因事
 たり居く九て大八河乃國の日本橋
 とも山とあすすと云ふなり一これゆふ
 今と稱く有切之神と名づく此日本紀
 熊野神記 非を船及浦村と

後治泉院乃此寺永長五年國中疫癘の
 子あり此河経體うて三所控況と知法す
 乃之神文 川江と社於五右別當神台寺

▲當國佛樹と記

建長寺乃天衣 如美長船と云 古伝 九十名余
 淨光寺 古伝 辛六石

順徳院乃此地此院寺上人建長あり
 兼久三年五月廿六日此条當時分るる

日蓮寺 法系 小浜 飯山 長玄 開基弘法大師 但形候

大善院 將宗 松山と云 古伝 廿六石
 密嚴院 孫宗 江川と云 古伝 十六石

當國名所と記

越乃菘原 菘地 菘 越乃松原 菘地 菘原と
 菘乃菘原 菘地 菘の浦尾 八石 小池の内と出らうると云
 二のの池 太哉中國名所 弁た小出なり但一
 越乃菘海 高木山と云と云

布勢海 月と云 越中國名所と云と云
 出せり又た此海を出らうる海と云と云

系指乃浦 屏尾表

小池より作波國、後乃添、或は國茶山
 乃葉師出や湯と云なり海上十八里と

▲作波國名所と記

金銀 細辛 黄連 遠藤 小綱
 浦松 月蓮 泉院 松 右作波國分以上

本日 山陰道 卷之十三

始 山陰道 八箇國

山陰道 八箇國 西小郡國あり 陰山北山小郡あり 西小郡國あり 西小郡國あり 西小郡國あり

丹波國 丹列 上管六郡 四万二日 王城附庸之國あり

素田 府 氷上 何麻 多紀

知行高武指八万五千七拾石

當 福智山沖城 管分四百十二里

朽木保徳守季植 朽木保徳 飯田如魚

江口作左衛門尉河内守 師保武房

Decorative elements including a circular seal with a cross, a square seal, and a vertical text column on the left side of the page.

朽木民能女御植昌
江戶流産安小親あり



花之りや

五人



朽木文佐守植元

馬

先代朽木守為城守
補植元安二年為常列六浦之城主
三万石 同守守秀徳二万七千石也
又系忠偉植昌より
山代わ為常城守

佐々木 右朽木氏御系系

源元信 河内守

植元 民部少輔

女子 庸意守空

季植 伊与守

植元 民部少輔

女子 大木守秀

植元 承女

則經 和泉守

當國有信長之時明神日向守元秀領之其後太閤奏旨之時少將系勝領之

高城元主 天正八年六月卒去
天正九年六月卒去

小野水越守

松原七郎長兼の家次

福系法海寺紀通

松平左殿政忠房

寛永七年 五万石
寛永九年 五万石
同年 四万五千石
寛文三年 四万五千石
寛文九年 三万二千石
同年 三万二千石
同年 加治

嗣藤山之沖城主

東海及西北七里
木曾守百九里

利 松平紀保身位慈

寛永三年 三万石
同和長兼



内倉松平元徳守
江戸守左衛門尉
同下 三田守

寛永元年 三万石
同和長兼



寛永九年 三万石

寛永元年 三万石
同和長兼

松平九十四郎

先代松平紀保身家信元和元年為初列
高橋一城主三万石
寛永十二年 同下
同依余一城主三万石
同和長兼守康候相
後三万石在也
寛永十九年
為初列高橋一城主三万石
寛安二年

寛安二年

同日丹波國龜山山城五万石同送河古典
信 同日紀伊守信成守後為備前守山城五万石

形原 右松平氏の家系

源家嗣

紀伊守

家信

康信

典信

駿河守

某 丹後守

信孝

信治

女子三人

某 兵部少輔

女子三人

女子三人

女子三人

信利

又七

主膳正 早世

信成

九十九郎 豐前守

女子八人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

松平丹波守室 直田彈正忠室
戸田和泉守室 中山市正室
松平長門守室 松平河内監室
松平兵部少室 永井伊賀守室

浅野土佐守室
小笠原遠江守室
戸次能登守室

前田主膳正

松平月防守康室

松平伴定守信吉

山城守忠國

松平水野守康信

同 送河守典信

同 紀伊守信成

同 送河守典信

同 送河守典信

龜山山城

久世出雲守重之

不知五万石

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

出雲守重之
中根長吉

典信 駿河守

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

女子三人

當城先主の山次女

當城者信長之代明智日向守光秀居城也

前田澁善院云以

是乃内孫心長也

天正十四年三月四日
因本家當城守信長之命
之知三回心福知山次女

久世

藤原廣宣

廣之

某

某

女子三人

松平山城守室

内田出羽守室

松平和泉守室

女子三人

松平山城守室

内田出羽守室

松平和泉守室

女子三人

松平山城守室

内田出羽守室

松平和泉守室

女子三人

松平山城守室

内田出羽守室

松平和泉守室

女子三人

松平山城守室

内田出羽守室

松平和泉守室

女子三人

松平山城守室

内田出羽守室

松平和泉守室

女子三人

松平山城守室

内田出羽守室

松平和泉守室

女子三人

松平山城守室

内田出羽守室

松平和泉守室

女子三人

松平山城守室

内田出羽守室

松平和泉守室

● 松平將監成重
 元和七年 二万二千石
 寛永十一年 四万石
 ● 菅沼鐵祐 二万石
 ● 同 右至吉支定 三万石
 同 松平伴知 三万石
 ● 同 伴知 三万石
 同 伴知 三万石
 貞享元年 五万石
 當城主
 久世出石重忠

同 菅沼 江戸百廿一里

小出伴持 守吉尚
 永禄九年 三万石
 大田全左衛門

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石
 同 小出 永禄九年 三万石

同 後部 沖飲 江戸 東 西 百里

九 九鬼大隅守隆常 九鬼 隆常 同 七 五 九

九 九鬼大隅守隆常 九鬼 隆常 同 七 五 九

九 九鬼大隅守隆常 九鬼 隆常 同 七 五 九

富田 沖代官 角倉 大 命 次 三 言 儀

小野 教 大 寺 角 倉 大 命 次 三 言 儀

丹波 國中 神社 社 記

出雲 社 亦 出 幸 上 皇 素 田 縣 三 言 儀

祭 神 兩 儀 三 德 津 姫 一 宮 祀 天 津 彦 根 命 日 吉 樹 下 林 系 山 儀 元 的 天 皇 和 洞 心 身 奉 養 小 治 出 況 滋 磨 雜 事

傳 位 右 近 衛 守 正 隆 年 十 月 九 日 後 白 位 上 國 史 二 德 津 姫 高 皇 后 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

肥 前 國 杵 築 郡 杵 築 村 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

天 津 彦 根 命 神 系 乃 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

中 小 着 乃 天 津 彦 根 命 乃 妻 也 倭 備 丹 波 國 丹 波 郡 丹 波 村 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

下 鴨 宮 觀 音 村 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

大 原 社 桑 神 一 座 今 乃 三 座 倭 備 丹 波 國 丹 波 郡 丹 波 村 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

大 原 社 桑 神 一 座 今 乃 三 座 倭 備 丹 波 國 丹 波 郡 丹 波 村 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

大 原 社 桑 神 一 座 今 乃 三 座 倭 備 丹 波 國 丹 波 郡 丹 波 村 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

大 原 社 桑 神 一 座 今 乃 三 座 倭 備 丹 波 國 丹 波 郡 丹 波 村 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

大 原 社 桑 神 一 座 今 乃 三 座 倭 備 丹 波 國 丹 波 郡 丹 波 村 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

大 原 社 桑 神 一 座 今 乃 三 座 倭 備 丹 波 國 丹 波 郡 丹 波 村 天 皇 皇 孫 乃 山 子 榜 幡 千 根 命 乃 味 大 已 貴 命 乃 妻 也

今傳傳天照大神と云く三座と云す
去秋支度乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被
釋^ニと云す乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被
榮^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被
永^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被

八幡宮

八幡

人皇七十七代後三景院延久三年辛亥秋
定^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被

水尾大崎村

水尾

▲桑林 清和天皇也 文徳天皇皇子
中^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被

野郎社

野郎

皇乃後小^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被

八幡宮

八幡

▲芝岩山大崎村 桑田^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被

母上大崎村

母上大崎

▲知乃乃崎村 氷上^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被

美日大崎村

美日大崎

▲高社^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被

任吉大崎村

任吉大崎

▲高社^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被

天田崎村

天田崎

▲高社^ニと云く乃糸貫^ニと云く乃貴^ニ被

祭神 少彦彦命乃高祖陽成天皇の
御宇元慶二年二建之

旧社

吉沢三社 社殿十三石
戸波村三 社殿十五石

▲丹波國中佛檀之社

泉宗寺

永尾村三之 本寺 美作 隱徳大

法常寺

法和天皇乃直勅氣寺也
千ヶ畑三之 古殿百石

祿法院

後水尾院 法皇乃直勅氣寺永九年の秋
建立之同山 佛頂國所 源家一之寺也

永澤寺

東田村三之 古殿六十三石
後小松院 建立之同山 通紅寂天和尚

本津寺

無山三之 古殿四十五石

穴太寺

古村三之 古殿百石
西宮札所

洞松院

村上天皇御宇 元和二年丹波國穴太寺乃
報善乃傳成元并坊令建立氣寺乃源乃
城天皇号之矣 後寺古本寺直向又乃同也

高野寺

中川村三之 同其寺也 德寺也

西光寺

古殿十八石

淨光院

古殿百石

大会院

古殿廿五石

法雲寺

古殿十五石

日山院

古殿十五石

▲丹波國中名所ノ社

山

山田

磐石乃山

山田

富乃小山

山田

山

山田

山

山田

山

山田

山

山田

山

山田

夫木村のむか井山のまきぶらは其の山名も其の山名も
村山

秋の風流のやうな山名にて村山の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
大い山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

夫木村の山の山名も其の山名も其の山名も
山

この村
これの村
おの尾乃夫

千載
藤波
五葉
末末

▲天竺の梅りもろく...
▲この村の梅りもろく...
▲八ヶ岳の梅りもろく...
▲長あまの梅りもろく...

丹波國中名物出所

前胡 ▲桔梗 ▲茯苓 ▲柴胡 ▲款冬
何人卷 ▲薤白 ▲萱草 ▲天麻 ▲枳椇 ▲桑葉 ▲麻皮
三升キノ皮 ▲楠 ▲松茸 ▲天竺黄 ▲枳椇 ▲桑葉 ▲麻皮
林檎 ▲木瓜 ▲桑葉 ▲山椒 ▲麻皮
無名草 ▲花露水 ▲福丸 ▲山椒 ▲麻皮
和氣系 ▲煎茶 ▲切地 ▲多打栗
丹波粉 ▲箱束 ▲雀の矢振
志布 ▲作仙紙 ▲柏原雲 ▲世上の切栗
茶小茶壺 ▲山椒 ▲田皮

右丹波國分上

大日本山陰道

八箇國上

丹波國 丹列

中後坂の酒小一町...
丹波 与佐府 加作 丹波 斤野 熊野

知行高拾二万三千百八拾石

和洞六年四月丹波國...
丹波の酒小一町...

當國田邊之沖城

約百四十五里

牧野佐渡守成

知行三万五千石

知行三万五千石



知行三万五千石
知行三万五千石
知行三万五千石

知行三万五千石

知行三万五千石

知行三万五千石

知行三万五千石

知行三万五千石
知行三万五千石
知行三万五千石

知行三万五千石

知行三万五千石

依後世親成爲善政所不自代入後 三万石
 ▲元文八年丹後國田多ノ廢城再築之
 爲城三万石石 同日周備宮高成 同日
 同日依後世親成爲善政所不自代入後 同日

▲牧野氏御家系

源正成 讚岐守 康成 讚岐守 信成 内匠頭
 親成 佐渡守 富成 因幡守 茂成 長太郎
 其 村越守 女子 土藏守守室
 女子三 阿部播磨守室 細川豊則守室 大久保四郎左衛門室

▲高城先生之治次也

田島城近於高城城 依後世親成再築之
 細川兵部大將 依後世親成再築之
 同日 武中守忠貞 三万石
 京極修經 依後世親成
 同日 依後世親成
 同日 依後世親成
 同日 依後世親成
 同日 依後世親成
 同日 依後世親成

同日 高津之沖城也 石分四百四十九里三町

阿部村馬守正盛 依後世親成
 依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成

依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成

阿部村馬守正盛 依後世親成
 依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成

依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成
 依後世親成 依後世親成

▲阿部氏御家系

阿部正勝 正次 備中守 政澄 修理亮
 正吉 佐馬助 正秋 豐後守 重次 對馬守 定高 備中守
 正能 播磨守 正武 豐後守 其 出羽守 正長

正重 志三郎 正春 伊守 某 權之助
 正房 兵庫次 利重 伊守 正盛 置守 某
 某 主膳

▲當城先主之由次也

●京極丹後守高知 孝長三年八月二十五日
 ●丹後守高廣 七年九月
世外三方子石并於丹後守高知之由次也
 ●宋并右近左史尚証 孝長五年八月二十五日
 ●日 佐藤守 但近左史尚証全并方之由次也
新和一万石取十之三和列
為上郡之号勲員
 ●河部村馬守正盛 延喜九年八月九日

同 峯山之由次也 江戸六百十里

京極主膳正高明

江戸京極主膳員守
江戸京極主膳員守

江戸京極主膳員守
江戸京極主膳員守



京極主殿

江戸京極主殿

▲京極主殿黃門二男京極丹後守高知
 物為佐列高知一城主後為同公領田
 城主八万石 一孝長六年八月丹後守高知
 七万石
 一孝長十三年六月丹後守高知
 七万石
 一孝長十三年六月丹後守高知
 七万石
 一孝長十三年六月丹後守高知
 七万石
 一孝長十三年六月丹後守高知
 七万石

▲丹後國中神社之記

▲祭社 恒吉同社也 一官記
 祭階 天保十三年六月八日從四位下 皇

竹野社

竹野社竹野村

祭社 恒吉同社也 一官記
 祭階 天保十三年六月八日從四位下 皇
 竹野社竹野村
 祭社 恒吉同社也 一官記
 祭階 天保十三年六月八日從四位下 皇

九世戸文殊

別當

海岸寺

智恩寺

新天より来りて又圖字煙舎の多像
なりと云り堂の東向く毎月十六日乃其
終より燈と指りてく我を社に世實乃
方乃神より新灯出流して堂乃水の流
らるる事云云九月乃十六夜乃天燈とく
燈より一灯なる事又伴部乃天燈とて一
燈なる事堂乃おふ此燈乃松とてく

成相親音

別當

龍岳山成相寺

聖徳太子乃唐系新かき云親音西四
世三所乃吹札所才廿八夜月二あり

不純院

志云

志云

かき不純院云 弘法大師の他
松根村
中村
志云

海光寺

唐洞

志云

菩提院

唐洞

志云

洞月房

唐洞

志云

四分寺

志云

志云

丹後國名所之記

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

おの山

おの山と云り

丹後之國 切土文珠



ナアノ御音

但馬之國 出石大明神



子と云 磯乃松多れりよみ無りてされ先奇しん松
と云不疑ふらと何なり

千載の事ありてまよふ此流の天の橋立松ありて 赤坂
と云これ流

よこれ流の内外の流不濁るゝ成らむ流り天の橋立
赤坂 芦 塩いふ入地 八泊

舟の橋 かしここれ橋 赤坂 田島 松尾松

橋の橋 舟中乃西一里ありてしよ此海成

舟の橋 赤坂と云 眺を去双乃松あり

浦の橋 古中なるいふ及乃乃江と云

浦の橋 うら流り修りて 赤坂 舟の流

浦の橋 朝の川や 舟の流の松多と云

浦の橋 夏あはの浦流り子に纏り朝泊りて七月まで 赤坂

浦の橋 子の日の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

浦の橋 舟の流の松多 舟の流の松多

丹後國中名物出所

蒲葦 胡麻 茗 檉 櫛 糸 袖

丹波子物と云 文殊貝 海龍

伴孫浦 綱 老海龍 同指真

沖崎集 久美海松 内堅吉 阿吉夫根

右丹後國分上

大日本山陰道 八ヶ國之内

但馬國 但州

上宮入船跡西二月田 船倉栗押無多

出石 休崎

二方 七兵衛 談合 又合 与友府

知行高松式方三子九百六名

書目出石 中 誠意 江戸 五百三十九

松平伴如右忠徳

内知行は万八千石

若谷忠良

長谷川忠良



内知行は万八千石

仙石氏系圖 仙石氏系圖

仙石氏系圖 仙石氏系圖



仙石氏系圖

仙石氏系圖



仙石氏系圖

仙石氏系圖



仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

當城先主の世次

羽柴義隆守秀長

前野但馬守長康

小出大和守高政

信濃守吉親

大和守吉英

修理亮吉重

備前守吉之

大和守英長

久千世

當城主 松平信俊 元禄十年四月八日生

豐臣 仙石氏系圖

京極中允守高任

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

仙石氏系圖

五合券
京極共船寺門

今よのけ

月也三男
京極氏納言里

今よのけ

右京極氏家系換列九在系極德九一系

當國津代官

秋山七郎左衛門

但馬國新津社

栗麻社

朝來社 三社

上慶寺 出光寺 中務社

下野玉治 一言記

或云大日灵尊月候言系蓋為号

給之三社 和州元年成中八月十三日

奉祀社八宮勸經会上 社名帳短

又統云出石公以一言とす

社位 久保十六年三月十四日正五位上 国史

社派 傍湯院

出石社 本願寺

麻鴨大御社

西原社 社位世三石 林三 勘三

大島村 社位世三石 別當 常次寺

妙見 寺社乃出社 日向社 社位世三石 別當 常次寺

女代明社 社位世三石 別當 常次寺

小村控院 社位世三石 別當 常次寺

當國佛樹

長福院 真言 例湯村 五石 二石

報音寺 真言 川尻村 五石 二石

法慶院 曹洞 出石 五石 三石

大雲寺 曹洞 殿村 五石 三石

白林庵 曹洞 山崎 五石 三石

万松院 曹洞 新本 五石 三石

蓮源寺 曹洞 寺 五石 三石

妙法院 法華 寺 五石 三石

後系院

用山月湖上人号日湖山

西方寺(向宗) 吉原村 天正年中相宗末代建立

但馬國郡名所之記

琴ヶ原山 為所集小畑より

物才山 大日乃

中岐のふたつ山のかげの原のふたつ山

山 山

山 山

山 山

山 山

山 山

山 山

山 山

山 山

山 山

但馬國中名物出所

山人参 芍薬 黄連 白朮 車厘

葛 干蕨 同徳 糸 糸

綿 徳 柳 籠 裏 温 石 照

香 東牛 徳 山 椒 出石 絹

右但馬國分

大日本山陰道 八箇國内

因幡國 因別 上佐長七郎有山二月

法英 八上 智願 邑

多 氣 巨 徳

知行高橋三万二千六百四十九石

當國鳥取之沖城

當國鳥取之沖城

當國鳥取之沖城



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

荒尾志下
元和
大和
深田指馬



以内島南坂大膳忠丈
印戸依屋敷 廿七石
月中下 木引下
其ノ多ク 有八十坪 島山奥

島田平三
小前保山
久保地之長
不致



松平勝五郎輝清

井上七郎



松平壹波守仲住
初二万五千石

能士而大馬
依之月市之志



法内屋
戸依屋敷 洪施例
月中

小畑市左



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



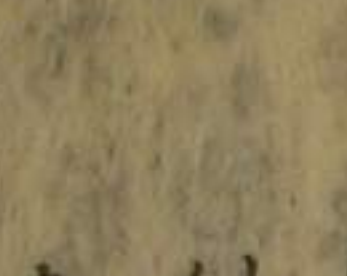
松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



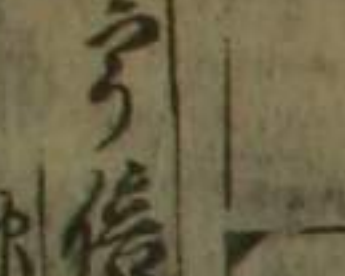
松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車



松平伯耆守徳清
元和二振二万五千石

真收
車

上件乃年月日時と云く云徳乃後致

和多理の神

八上郡 巨 社於世石

娘神の神

多取 巨 社於世石

八幡宮

多取 巨 社於世石

春日の神

多取 巨 社於世石

神宮寺 真寺

多取 巨 社於世石

東照権現

吉屋 巨 社於世石

龍峯寺 孫系

多取 巨 社於世石

國府一休寺 孫系

多取 巨 社於世石

洞縁院 曹洞

多取 巨 社於世石

徳源寺 曹洞

多取 巨 社於世石

不勤院 曹洞

多取 巨 社於世石

浄法寺 曹洞

多取 巨 社於世石

同徳國中一谷所之記

同徳山

多取 巨 社於世石

古今立別出つか山乃麓に坐す松や実今尚りんり

凡ゆる同列乃伝説乃時乃奇 云云説く

大寺に伝説乃行 大酒去乃年あり一國後

此寺は建てる人なり中納言乃年あり

山中より命しと云りまこと松尾相公云の

乙女小更り給ひと云傳りも常下りの此

さらば此を名取乃りかば雲乃古同徳山

此寺乃名取乃りかば雲乃古同徳山

中納言行平八尾好高の便所
三角山 春集抄より
東の麓に石室あり此山に好高の便所あり
いさ江川

△因幡國中名物出所

備前 備前 備前 備前
備前 備前 備前 備前
備前 備前 備前 備前
備前 備前 備前 備前

△右因幡國分坐

大日女山伝道 八箇國分

伯耆國 伯列

二編 備前中之國也 四割八十寸
河村 久末 八幡 汗入
日野 倉見 又見

伯耆國 備前中之國也 四割八十寸
七八頭乃大龍吾んと欲せり此故不道
山中不入時に母身く来たり終乃以て
母来す也と云々坂小田本國と号す可也
改て伯耆と守す可也

當國米子之山城 江戸今百十二里

當國米子之山城 江戸今百十二里
當國米子之山城 江戸今百十二里

△當城先主之次子

當國者姓古毛利氏歟之

加藤左近右支貞泰

元和三年

松平新太郎光政 寛永九年

松平相模守光仲 同列名取之所

同 伯耆古網法 同列与並歟

△當國中神社之教

傳文大明神 川村歟之 社殿五十石

祭神 下照姫神 大巨貴余世一宮記

鎌倉年記未考 神徳云 和福所

徳久乃世此人の名と云ふ人なる事

○伯耆國 備前中之國也

小形のりほあひのりかんふのり事
神カとてげまて目れはれ神ふり
せんと徒小世乃人の四九産法はるん
ふかひあすあふれとてそむけとく
ういあふんとま

大山大智の神 大山三社於二十石 大志宗書也

祭神 大已貴命 祭礼四月廿四日

他若國大山大智の神の神源天皇乃之兒
神流乃多を因と物して社以建出下
乃母子父之山ありのり名に藤ふさるを
あ乃岳おたわりの枝があすす神おとす
云 神社考 此神乃が縁探集抄内もあ
るりより神の思ふ山と云 神考 松枝の
ことく神あへりあひくこと取依神あ
おあありあふせりあひりこと

八幡大社 八幡社三石 社於二十石

長宮檀院 舎見三石 社於二十石

富士檀院 坂崎三石 社於二十石

一 他若國中仏樹の神

神宮寺 真言 河橋社三石 寺於二十石

観音寺 真言 日野三石 寺於二十石

大久寺

尚寺の云義和尚乃住居之和尚下野國
那吹野のそ殺生石とて守とて國人
乃夢とのそくあ多のそは當古において
迹にわりとよりこれ乃血ありとてけと
夜小つれと今小いこれ室抱りてあり

青松院 須賀 久米三石 寺於二十石

一 同國各所

▲ 當國中より今名あつと名あふり
より換見とてとより名あつた書

一 同國各物出所

織 熊鷹 名カハ 大山 鷹牙 出所

▲ 右他若國分の上

大日如山修乃 八箇由角

出雲國 雲州 上後叶の東通二日守村
杉鹿鹿お交葉葉云屋
田殺九十九十六町

雲州 熊鷹 鷹牙 出所
出雲 神門 飯石 仁及 大原

知行高式格五十二部百七石
 當國出雲と危付り所以八八米水長津野令
 乃八雲之川出雲と浪才中放小出雲と云
 同云紀 松八米水長津命八米水長津命別号之
 當國松江之津城主 江戸分二百六里

松平出羽守経近
 江戸分十八方六石
 江戸分松平依波吉辰
 江戸分松平依波吉辰
 日中 四谷大木戸 日下
 日下 本飯今井戸

大指袋太馬
 乙船九ノ目
 朝日舟政
 長川より
 重月角太馬
 森多利依太馬



おさへん 北へん
 大野良良
 馬

松平頼母
 江戸分松平日近以妹
 江戸分松平日近以妹

當城先主之出羽守
 當國首領古毛利家領之

堀尾出雲守忠実
 出雲守忠晴
 京極出羽守忠高

出雲守忠実
 出雲守忠晴
 出雲守忠高

松平出羽守忠高
 出羽守保
 出羽守綱周

出羽守忠高
 出羽守保
 出羽守綱周

廣瀬之津城主 江戸分二百里

松平上野守近茶
 江戸分松平上野守近茶
 江戸分松平上野守近茶

江戸分松平上野守近茶
 江戸分松平上野守近茶
 江戸分松平上野守近茶



松平式部右衛門近時
 江戸分松平式部右衛門近時
 江戸分松平式部右衛門近時

江戸分松平式部右衛門近時
 江戸分松平式部右衛門近時
 江戸分松平式部右衛門近時

松平英将直能
 江戸分松平英将直能
 江戸分松平英将直能

江戸分松平英将直能
 江戸分松平英将直能
 江戸分松平英将直能

江戸分松平英将直能
 江戸分松平英将直能
 江戸分松平英将直能

江戸分松平英将直能
 江戸分松平英将直能
 江戸分松平英将直能

江戸分松平英将直能
 江戸分松平英将直能
 江戸分松平英将直能

▲松平出守先知内伝云々

▲神光寺河美門秀廣卿... 五万石... 七万石... 但世方在是枝方...

▲出雲國中神社之記

大社并築太神宮

社領五千石

社務 西園造

▲神門於并築村... 又云出雲郡... 西園造... 外千家小社...

▲天穗日神社

▲伊弉諾

▲桑社

▲上社

▲下社

▲日相殿社

▲日相殿社

▲日相殿社

▲日相殿社

▲日相殿社

▲日相殿社

▲日相殿社

▲日相殿社

土師天神

出雲郡土師村小寺
カシケ 菅原 四史乃有天神日命

十世乃孫と野見宿禰と云々出雲國に
居たり志仁帝乃頃うに植とてりて人極以

とり殉死乃天葬ふふ帝大命を去所姓
と傳りて蓋一養神の云神氏乃高孫なり

故ふ山邑小川村と稱うと云々 菅原と云

長文の神

松江城中ニ長文祭神神祇天の神
依小島社の神ハ長永年中久遠宣示由

佐列松中より所小橋り藤府より云々

八幡宮

夫聖村ニ 社殿廿石 社務長云

東照宮

夫聖村ニ 社殿 社務長云

當國中佛閣

表外中系ニ 古殿廿石
松江古河ニ 古所古武原宿

月照寺

赤雲堂生れ地ニ赤雲自宗あり石
小寺付 鎌月寺此堂ありて今此寺

長四寺

村桑村ニ 古寺西観者
松山ニ 大木ニ

天竺寺 藤家

大木ニ

長福寺

松江院 藤家 新田村ニ

大竹林

松江院 藤家 新田村ニ

健水寺

松江院 藤家 新田村ニ

▲出雲國中各所ノ歌

出雲の山

系也 志しき方一 かく傳り

出雲乃冥山

系也 冥と云り

出雲乃冥山

系也 冥と云り

出雲乃冥山

系也 冥と云り

出雲乃冥山

系也 冥と云り

出雲乃冥山

系也 冥と云り

出雲乃冥山

系也 冥と云り

出雲乃冥山

系也 冥と云り

ひの川 船津と云 五邦

林心 初方光の程を流るひの川上流處も八尾垣

あじ 吉野川 栗山 五里

枕木山 楠尾の里 卯と云居りあり

塩治 尾の里ありす津門敷のうり塩治 村と云ふに塩治判文石段あり

西國陸海

● 梅列大坂と因幡國を流る陸海

● 出雲國松江と陸海

大坂と 尾の里、三里 卯と云居りあり

尾の里と 卯と云 卯と云居りあり

長原と 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

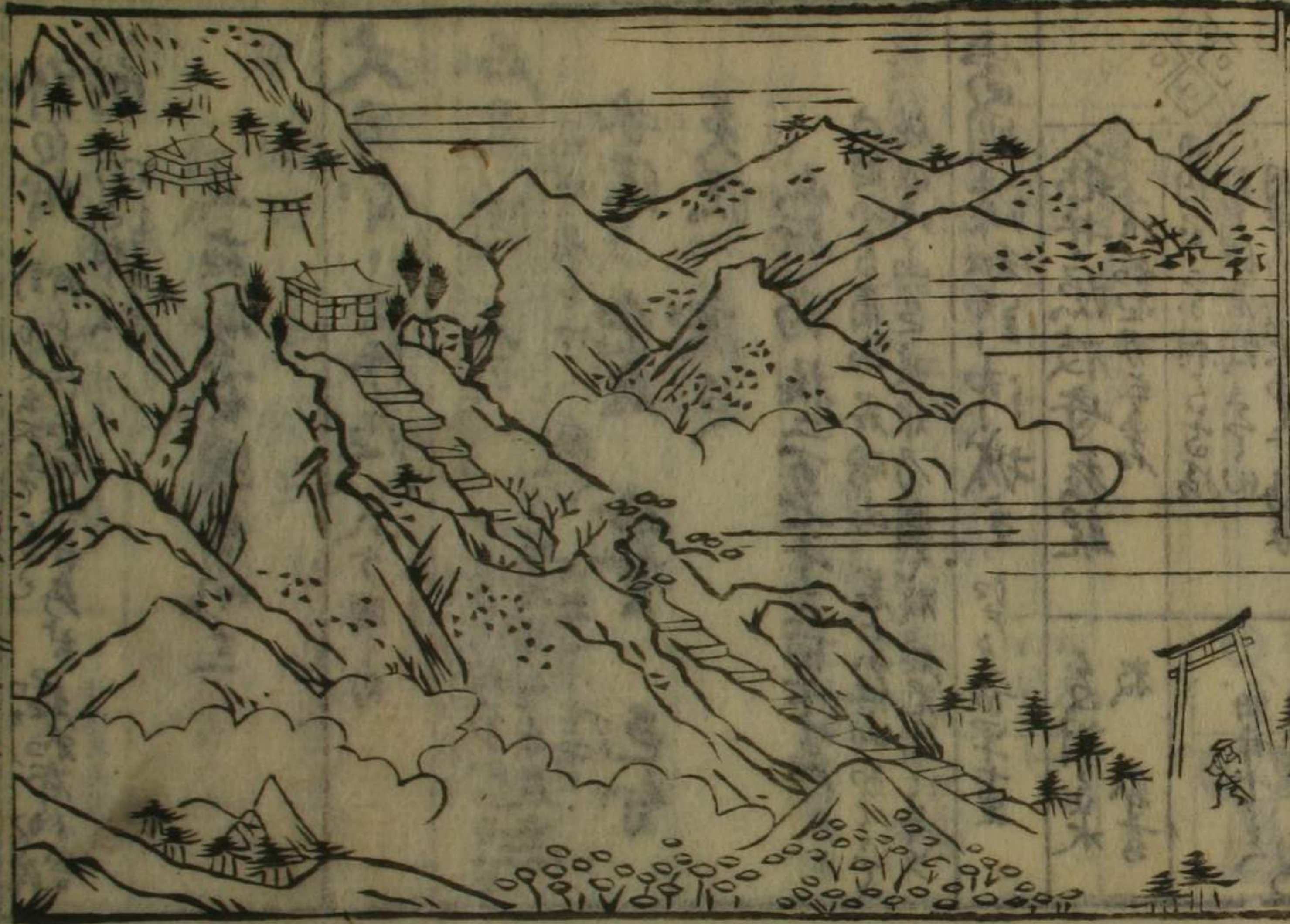
卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり

卯と云 卯と云、五里 卯と云居りあり



石見之國物部大明神



出雲之國 大社

石見之國物部大明神

出雲之國 大社

野白紙 野白と云ふ不考と云ふ
 能 能のり出る

▲右前玄園分

大目山山位及 八ヶ國の内

石見國 石列

仲管六那百山二目半
 原布世利及統貞
 田敷七千二十

安流 安流 那安 邑行
 英流 麻足

無行高橋二万七千三百七十七石

公國小角山岩崎山 若家仁山 勿とて
 決取乃山を後難乃國之故三石見國と号又

賞國津和野津城主 江戸分言軍七重

森井限政守孫親 友明直水
 此知四万三石 叔 長喜

直内宮 系對るる孫
 江戸分言軍七重
 田井七重



森井新十郎

初之入 女房

▲右亀井氏神家系

源茲經 武藏守 茲矩 豊前守 茲政 豊前守 政直 佐守
 其 貞右衛門 女子 鳴津飛騨守

茲親 能登守 隱岐守 坂倉田井守室 女子三人 柳生備前守室
 其 新十郎 鳴津飛騨守

▲先代代々之由流

富城 月 限政守 茲親
 元和三年冬四月壬子和
 又森井氏孫支
 四万石 但三子不
 才貞七老配分
 同より

明日 濱田 沖城主 江戸分言軍七重

松平月防守康賢 豊田村
 此知五万石 熱氣御三子
 天正九年壬寅
 松平康久

江戸分言軍七重
 江戸分言軍七重

日中



二百九号

和泉守康持



おのゝ 北 鉾 白

仲光松平周防守康重

仲光松平周防守康重 康重 康明 康寛 康明 康寛 康明 康寛

右松平氏御家系

源忠次 周防守 康重 康明 康寛 康明 康寛

康明 康寛 康明 康寛

菅田城先主代

九當国者住口毛利家領之

右田大膳大支左 康重 康明 康寛

松平周防守康重

當國津代官

石見國中神社

物部神社

安法郡立

康重 康明 康寛

康重 康明 康寛

康重 康明 康寛

康重 康明 康寛

康重 康明 康寛

八幡文

後四三

△同國佛相

不動院

真言

松川村 本寺不動の基化産

大勝寺

真言

安徳郡

梅月院

律宗

秋津三

法雲寺

律宗

津和野 法雲寺の基 日蓮上人

△石見國中各所之記

妹山

持忍系

人丸

妹山乃岩屋の寺なり其寺も和を以て妹山と云ふなり

洞書 石見の山に於てなり其寺も和を以て妹山と云ふなり

藤乃山

持忍系

人丸

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

三ノ山

持忍系

▲安藝國廣野より高國渡り
初乃乃法唯為長門國紀々

▲石見國中名知出所

石見國 治 黒白 基石 杉並
白雲 防風 榎柱

▲石見國望

大日本山陰道 八箇國より

隱岐國

知史 海船 月吉 隠岐

知行高を百千八百石

和名云々の物者由安芸石見等より神の國たり故不隠岐と云

當 山嶋

江戸より百十七里

▲隠岐國中神社の

中良根神社

古史載云 祭神 座

海神 祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

祭神 大己貴命 祭神 座

巖火控記

海船神 正 祭神 一

大月 永安 祭神 天照皇大神也

祭神 大己貴命 祭神 座

仍内竹所二十种乃儀武小哉... 延喜帝已未制... 瀬波郡乃... 瀬波郡乃... 瀬波郡乃...

當國佛櫛

觀音院真言... 海雲寺... 松月庵... 河原院...

瀬波國中各所之概

瀬波の海... 瀬波乃小舟... 瀬波乃小舟... 瀬波乃小舟...

瀬波國中名物出所

和布... 桐板... 素板... 瀬波乃小舟...

左瀬波四町上

本月... 瀬波乃小舟... 瀬波乃小舟...

始... 山陽道... 八苗五山...

山に松竹... 瀬波乃小舟... 瀬波乃小舟...

橋麿四... 橋麿四... 橋麿四...

須布紙帛多衣食是六上四也
田敷二万二千石在六下

白石 契古 中右 飾磨
カキカキ カキカキ イハヒニ シカニ

保保 赤徳 依用 定業 能治
ホホホホ アカキホ サヨニ ニサウ カシキキ

交河 兵登 揖西 揖东
カキカキ ヒコホ イフサイ イツト

知行武積二万七千七百石

暎元云計間と云有系行天皇の二年小
播磨物用太神祇と云くは皇居と云く日
中武子と云播磨乃辰始と云干此云

當國姫路之沖城至 江戸百七十里七

木多中勢左補政武
中振集人 吉屋新屋 河面健太 政集整久

知十五万石 中大丈

近國至 松平信房身後
江戸内屋敷成格の内

日中 外云由

月下 本以東川宿

馬加々 表舟七人



川崎半虎 佐藤清吉

木多中勢左補政武



切之 不月

▲木多中勢左補政武是知由但國

▲順先本及平八中勢左衛門忠勝長女長平年分
勇列業名 為政主一十二万石 同是徳忠政
同考 ▲元和三年同接列帳係 為政主一
十二万石 但上方及馬子中勢左補政利 一
次男甲斐政利也 忠政卒去 後政利和後為
後主 十二万石 政利卒去 後主 長長長
初主 依政利又肉他云政勝自承其十九万石
卒去 後寛永十六年為初列帳中 依主 政勝
卒去 後寛文十二年 中勢左衛門政長 承
十二万石 依主 定貞七年 同奥州 福山 整
十二万石 ▲定貞三年 同中勢左衛門 武
列帳係 不整為高川 依主 十二万石
▲肉他云政勝由為本及出重云 政利七万石
依主 定貞七年 播列帳係 為依主

▲右本多氏家系

藤原思豊 平八郎 忠勝 平八郎 女子 直由伊豆守室

志朝 出雲守 女子 本齋室 忠利 中勢左衛門 女子 松平 新太郎室

女子 奥平太膳 政勝 内記 致朝 田斐守 政長 中勢左補

政利 出雲守 勝利 命共衛 忠義 能登守 政信 監物

某 肥前守 女子 三人 金藤長門守室 政貞 肥後守

庶物養子 井上中勢左補室 美内記

庶物養子 毛利和泉守室

忠義 下野守 忠寄 能登 政武 平八郎 某 龜太郎

忠利 長門守 忠晴 彈正 某 平六 大藏 某 中務大輔 美交 聖刑部

忠次 某 平六 大藏

忠豐 淡路守 女子三人 松平左京室 石川若狭守室 松平飛騨守室

▲當城先主之御次子

▲當城者天正九年春大岡秀吉築之為居城其後

木下右衛門大夫延俊 豐長九年卒三万石 但係第四正統

池田三左衛門 輝政 同多 初孫松平

日 武彥守 利隆 但才及見吉輝隆日有系大夫政隆 日右近大夫 輝具丸瑞子新太郎代三周列多取一所晉 元和三年 十五万石

本多英徳守 忠政 外十方石瑞子中務方之輔忠利也 共方石八次男甲斐守政利也 元禄十六年十八万石

松平下総守清匡 十二万石 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石

日 下総守清良 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石

松平大和守直基 同多 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石

日 大和守直徳 同多 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石

林原武敏太史忠次 同多 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石

松平大和守直胤 同多 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石

當城主 本多中務志胸政氏 同多 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石

同明石之沖城主 江戸寺西一里余

源征父三所英門又松平恒三守 育英甚り

松平景徳守直明 向大官也

流知六万石

内田金酒升空印女 青山源太史 与叔事太史

江戶中務守 同多 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石



松平左衛門直常 大聖守太史

同多 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石



同多 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石

同多 慶安元三出服山形石之 學安元分 十五万石

▲此松平恒三守高心保元年武家 大聖守太史 一五万石 天和二年同景徳守 直明為攝列以石高沖城主 一六万石

▲當城先主(水次)

池田輝政 同利隆 抄分 長安五年 5

小笠原右近左支忠貞 (元和三年 1000石) 長安十年 1000石

松平丹波守康直 (元和三年 1000石) 長安十年 1000石

月 丹波守長盛 (同治 長安十六年 1000石) 長安十年 1000石

大久保加賀守忠孝 (同十六年 1000石) 長安十年 1000石

松平山城守忠國 (同十六年 1000石) 長安十年 1000石

月 日向守信之 (同十六年 1000石) 長安十年 1000石

本多忠房 (同十六年 1000石) 長安十年 1000石

松平長俊守直明 (同十六年 1000石) 長安十年 1000石

▲赤穂之沖城主 江戸六百五里余

淺野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

浅野内通以長繼 (江戸六百五里余) 長安十年 1000石

江戸流屋敷 新橋二丁目
同下 馬山名

國市小太夫
塩山三のみ

脇坂主殿



大目お 上へ下へ
太目お

徳吉大和太師云々
正徳二年八月十五日
同日 江戸流屋敷
同日 馬山名
同日 國市小太夫
同日 塩山三のみ

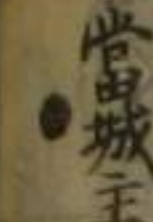
源安治 中務火補

安元 淡路守

安政 中務火補

安照 淡路守
父中務
加藤遠江守室

某 主殿
加賀守



脇坂中務太助安吉
同日 淡路守安照

寛文十二年依列加田
同日 江戸流屋敷
同日 馬山名
同日 國市小太夫
同日 塩山三のみ

同 林田 沖舟主

建教内近以心吉
流知是乃石

同 沖舟主



江戸流屋敷
同日 江戸流屋敷
同日 馬山名
同日 國市小太夫
同日 塩山三のみ



源政勝 内匠
其 主水

同 源政勝



源政勝 内匠
其 主水

同 源政勝

源政勝 内匠

其 主水

政信 内匠

同 小野 沖舟主

一柳太佐守連及
其 主水

同 小野 沖舟主

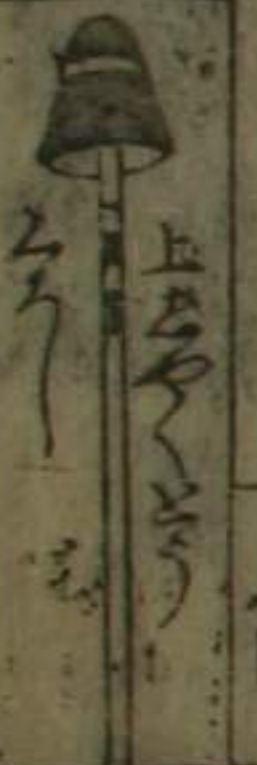


源政勝 内匠
其 主水

同 源政勝



一柳太佐守連及
其 主水



同 源政勝

右一柳氏以家系

源直盛

直重

直貞

直則

直次

直好

某

直頼

某

同 完栗之津

江戸分百六十四里



又監物之父母元

同 分百六十四里



又監物之父母元



又監物之父母元



當國時代

服部六左衛門三音儀

末吉勘兼三音儀

播列國中神社

伴和社

元栗之三三

大已貴命下御意 一宮祀 又南社也

今峯相祀云云 一又伴和社中奉素意

皇居三韓之國地也... 乃始... 皇居三韓之國地也... 乃始... 皇居三韓之國地也... 乃始...

廣峯社

廣峯社 廣峯山 社七十七名

天平六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

天正六年三月十八日吉備公敏行...

和天昭宗 高社の大石持命と云々
 甲辰年中七月十八日思兼命と集部とて軍接
 乃威儀公等と云々古む乃出傳小秋の天
 皇乃派世世六年甲申六月十日高社
 一國皆信と云々天平宝字年中也文
 崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城

高田社

祭神 天平勝寶二年巳
 丑五月七日女御赤巻命と云々
 乃威儀公等と云々古む乃出傳小秋の天
 皇乃派世世六年甲申六月十日高社

静窟

祭神 二座
 大己貴命 崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城

大己貴命 崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城

志都乃石室の蓋 崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城
 社崇相記云云天平宝字八年天城



岩山

天王
人名社

此在教上將社教者名則當常光坊
日次祭者之社教甲辰刑堂月思院

祭社

棟本入丸及也 一掃本入丸八石凡

國乃入也或云是凡何是此許乃入と云ふと未
詳小寺と云ふと 文釋と云ふと 和州乃仙性と云ふ
更と云ふと 卑小と云ふと 七と云ふと 條森と云ふと 正と云
目乃和無解坊り持統文武乃聖徳太子
新田と云ふと 皇太子小遇吉野山乃雲の角
仙乃の住と云ふと 赤坂秋乃の在浦乃秋葉
場小廟再成と云ふと 河原強と云ふと 小と云ふと 六と云ふと
秀徳百代乃美談と云ふと 全天下畧

入丸

入丸八宮位不見天智乃法時の人也 拾本抄

掃本

掃本姓入天是疾押人命之後世世世世

三月十八日

三月十八日入丸乃忌日也 昔ハ和州所
毎月十八日小所乃去る 徹書記物語

室の社

室の社 赤之 修理と

八幡宮

八幡宮 高云 月端と

同社百座

同社百座 社教十石 西林寺

天社

天社 社教十石 白丸庵院

山王宮

山王宮 社教十石 社教十石

恒吉社

恒吉社 社教十石 社教十石

恒吉社

恒吉社 社教十石 社教十石

山王宮

山王宮 社教十石 社教十石

當國佛欄

善寫山系教寺

善寫山系教寺 大台 坊舎金所古殿五百石

一除院永延二年開山性空上人 本寺

丈六乃如來佛觀音 西國大乳才九七番

大寺

大寺 善寫山の奥と云ふ 春徳天皇御宇と云ふ

一系寺

一系寺 天台 法皇山又春徳天皇 古殿百石

八徳寺

八徳寺 天台 此在是又蘇と云ふ 古殿百石

大山寺

大山寺 天台 此在是又蘇と云ふ 古殿百石

林蔵寺

林蔵寺 天台 此在是又蘇と云ふ 古殿百石

朝光寺

朝光寺 天台 此在是又蘇と云ふ 古殿百石

津云寺

津云寺 天台 此在是又蘇と云ふ 古殿百石

常光寺

常光寺 天台 此在是又蘇と云ふ 古殿百石

清水寺

清水寺 天台 西國大乳才九七番 古殿百石

西國大乳才九七番 古殿百石

聖徳太子御影 今昔千年祝音八幡河院

西宮聖徳太子御影上人建立

聖徳寺

天長

鴨山

古灰百廿石

法皇寺

天長

西園寺礼并其喜蕃本寺千年祝音

聖徳上人建立之身乃其像

八心寺

真言

松原

古灰六十石

五峯山

真言

平南殿三又三又

古灰百石

酒見寺

真言

母保殿三或揖西

古灰六十石

光明寺

真言

松山

古灰四十石

見性寺

真言

室津

古灰廿石

瑞澤寺

真言

古灰八十石

長心寺

真言

古灰卅七石

万勝寺

真言

古灰卅石

慈眼寺

真言

古灰卅六石

石津寺

山伏

古灰卅六石

法光寺

山伏

古灰卅七石

大光寺

山伏

古灰卅七石

法界寺

山伏

古灰卅三石

日光寺

山伏

古灰卅石

大光寺

山伏

古灰卅石

▲播磨國中各所ノ石

高砂山

松平山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

高砂山

高砂山ノ石あり 高砂山ノ石あり

まよく沖のあはれ海 浦 追門

万三宮の湯のせは傍にわたしの故に波おこすも
あつたる里 ありありありあし ちうはるら

と他やハ揚文際乃てし西の屋のし
あつたる里 市島海 川

あつたる海
あつたる市 市女 くらぬの

あつたる川
あつたる海 海に出るくより 近き

あつたる浦
あつたる月 月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

あつたる浦
あつたる月まき 木山 ちち二出

生島

いしと島 赤石の島よき 後の島

安古乃島

安古乃島 松ヶ原の島 舟の島

奇島

奇島 舟子 楠島

いれ島

いれ島 舟子 淡味 舟の島

石乃島

石乃島 舟子 舟の島

石乃島

石乃島 舟子 舟の島

石乃島

石乃島 舟子 舟の島

石乃島

石乃島 舟子 舟の島

石乃島

石乃島 舟子 舟の島

石乃島

石乃島 舟子 舟の島

石乃島

石乃島 舟子 舟の島

石乃島

石乃島 舟子 舟の島

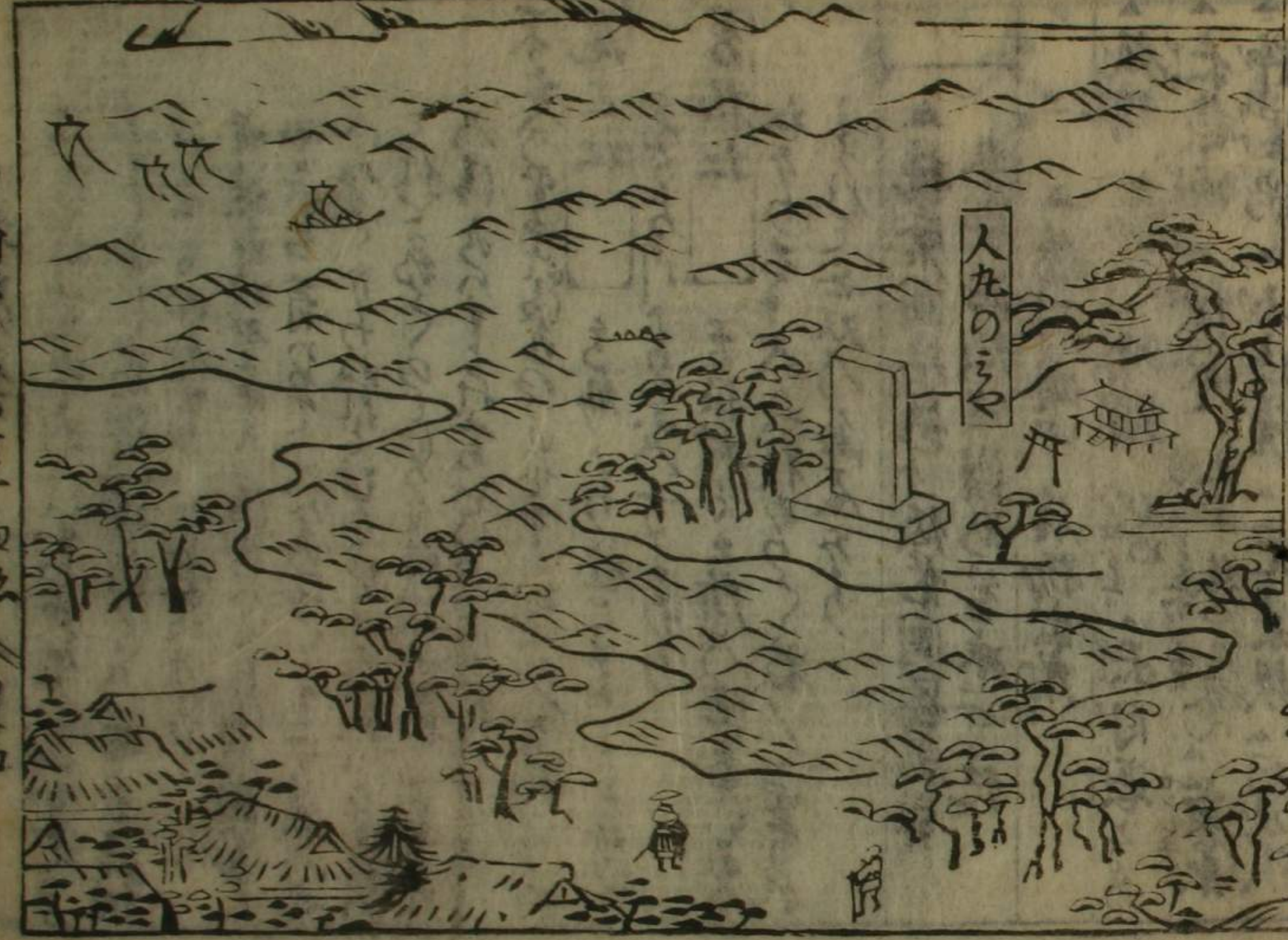
石乃島

石乃島 舟子 舟の島

石乃島

石乃島 舟子 舟の島

播磨之國 明石ノ浦



人丸の島

舟

播磨之國 四十三

後よりしりて平むれば美能山なる
 小見しきりて最江乃浦ひきりて浦若此細
 河もよぬ名ふらるる名所なり
 新林に枝聖申乃浦ありは乃西も
 聖なる昔ありてこれありてとひく未乃世
 ふゆかくかわねれとひくとゆひ供ふりてハ
 これとあるくのせりて他國并地ありは申
 乃浦ありしと書きとひくとと書き

尾上松 多所あり福と申りくと之所へ
 とあり乃川ありは乃方よりあり

乃根松 乃根村と云所乃海邊ありあり
 松ありてサ大之後ありて枝くは方に
 ありては乃乃名本あり

▲橋廣國津乃乃彼若國是山並
 安既國彼法國乃乃末二可紀

▲播列國中名物出所

飯精 能抄
 未熟 徳煮
 野里 嶋 小徳鏡
 指也 漆
 書 寫作 一回竹子
 赤川 蝦 赤川 蝦 赤川 蝦
 赤川 蝦 赤川 蝦 赤川 蝦
 赤川 蝦 赤川 蝦 赤川 蝦
 赤川 蝦 赤川 蝦 赤川 蝦
 赤川 蝦 赤川 蝦 赤川 蝦

▲右橋廣國合記

大日本山陽道 八ヶ五ノ内

美作國 他列
 上管七級東西三百余
 田園圖を以て局分

英田 勝田 信西 信東府
 久米 大庭 美橋

知行高武後二万七千七百十六石
 和州六年四月彼法國に於て割く初

富田清山之御城主 江戸六百七十一里余



森 莫化守長成

由新橋八百六十石
 江戸宮 毛利田甲斐守殿
 江戸由成殿二より侍
 森 莫女
 長尾 隼人
 森 不左衛門
 笑 亦記
 之 林 平四
 無 藤 長三



同中林明亦同下之

二平九兮



可更若系
松本若系



森狩馬身長俊

可更若系
松本若系



流内室
江戸内室
同中

以備若系
川若系
江戸内室



森六松

大指虫系
細聖市島若系



關大藏長原

大指虫系
細聖市島若系



流内室
江戸内室
同中



森美他書亮知内但廻一決

▲流内室 森美他書亮知内但廻一決
▲流内室 森美他書亮知内但廻一決
▲流内室 森美他書亮知内但廻一決
▲流内室 森美他書亮知内但廻一決
▲流内室 森美他書亮知内但廻一決
▲流内室 森美他書亮知内但廻一決
▲流内室 森美他書亮知内但廻一決
▲流内室 森美他書亮知内但廻一決
▲流内室 森美他書亮知内但廻一決
▲流内室 森美他書亮知内但廻一決

源忠政

長繼

忠繩

長政

長武

子

長俊

▲先重
▲金吾中納言秀秋
▲森美他書亮忠政
▲内記正長繩
▲伯耆守長義
▲美他書長成

菅城王

菅城王
同
同
同
同
同
同
同

△仙洲國中神社之記

中山大河林

若菜郡國府津山し山一里三之

△祭神 大己貴命也 一之記

貞觀十七年四月九日正三位 國史

二之宮

九月以下卯氏小若乃らて傳粉友之

と以所小御清すとましく以所云双の同奉

お小川之名ゆり久米川 久米依命の

勅使宮

一津山府中と△祭神 大日灵貴

位位西一位 當文天文年中少人及中

て宣命燒立す故小吉田是連小向名

て寛文三年八月文改し

大隅宮

△戸川 或ハ三乃瀬乃岩之上乃瀬と

八幡宮

今以少宮若と云不之 徳曆年記若乃

山王権祝

津山と云孝徳帝天半年御傳江

龍音寺

中一建立 本号十一面觀音

吉祥院

津山と云 密源寺と云 大倉と云

長福院

坂江と云 安養寺と云 勝田殿

阿彌陀寺

津山と云 後小松院 應永

西光院

年中一建立 本号阿彌陀

久米文山

△同國中各所之記

後寺山

川と云 高和 高和 藤衣 和宗

勝乃田乃内湯

相夷美能や高和文山と云く小高和の云 万代に

漆森

高和と云西の云 高和 法善院

湯田池

高和の森 高和の森のすけ 法善院 寺

以外四

高和と云と云く法善院と云ての柱は神に配り

小載る者... 此は地味分り... 何れも... 何れも...

▲英他國中名物出所

▲鹽硝 高田産 高田中産と云ふ... 硬生木 法隆寺より出た...

▲右英他國分

大日本山陽道 八箇國

備前國 佐別

上管十一郡... 備前國... 備前國... 備前國...

小鶴 赤坂 津高 上道 野野 小足 色久 野野 小足 色久

知行高武指八方丈二百里

當國長山之御城... 江戸百七十二里三

松平伴徳守徳政

由内... 江戸... 徳政... 徳政...



松平主膳輝致



▲松平伴与忠徳政

先帝... 徳政... 徳政... 徳政... 徳政...

忠雄 相後 同日 寛永九年 忠雄之男 相後 吉元 仲
同列 彦三 不三 方石
△元和三年 松平武
益吉 利隆 堀内 松平 新右衛門 光政 捷列 堀
内 同列 彦三 不三 方石
△寛永九年 同日
俊平 山本 山本 同日
同日 同日 同日
同日 同日 同日
同日 同日 同日

△富城 光重 元次

守森 多和 泉守 直家

● 同 中納言 秀家

● 金吾 中納言 秀秋
（長長五年 地方
同七年 地方）

● 池田 三友 秀 輝政
寛永八年 世二 方石

● 松平 左衛門 秀 忠 継
池田 輝政 三男 同日

● 同 三男 同日
寛永九年 堀内 相後 吉元 仲 同日 同日

黨三

● 松平 新右衛門 光政
同日 同日
寛永九年 世二 方石

同日 新田 三郎 三三
同日 同日 同日

池田 信濃守 政吉
同日 同日 同日

池田 三郎 一 方石
同日 同日 同日

池田 内膳 政 忠
同日 同日 同日

池田 丹波守 政 信
同日 同日 同日

池田 丹波守 政 信
同日 同日 同日

池田 丹波守 政 信
同日 同日 同日

池田 丹波守 政 信
同日 同日 同日

池田 丹波守 政 信
同日 同日 同日

池田 丹波守 政 信
同日 同日 同日

池田 丹波守 政 信
同日 同日 同日

池田 丹波守 政 信
同日 同日 同日

仲澄 常陸守 某 長吉

女子 一条前右府之御養女

細政 伊豫守侍從

女子 本多下野守室

中川下野守室

毛利中務守室

棟原利貞室

女子四人 堀田下総守室

毛利右京大夫室

本多中務大輔室

南御主人室

政言 池田信康守 政熙 内匠頭 某

備前國中神社之社

石上社

祭神

布都御魂

高天原之神 高天原之神 高天原之神

又大和山石上布都社小祠の事ありも源

乃以叙かり出布都天皇御宇に大和山

山石上社ありて今も其社あり

酒折社

日本紀 日本武尊日之方命の御宇に酒折の

て合流すは是酒折と云ふなり

て云 丹 ありて是酒折と云ふなり

酒乃作酒を造るなり

此に酒造る事ありて酒造るなり

酒造る事ありて酒造るなり

酒造る事ありて酒造るなり

酒造る事ありて酒造るなり

酒造る事ありて酒造るなり

酒造る事ありて酒造るなり

酒造る事ありて酒造るなり

酒造る事ありて酒造るなり

酒造る事ありて酒造るなり

酒造る事ありて酒造るなり

東照宮

長山ニ立社於千石 別當利光院

下野國日光山東照宮云々 勅傳正なる也

八幡宮

長山ニ立社於中津川 勅傳正なる也

小幡宮

長山ニ立社於小幡 勅傳正なる也

長山ニ立社於小幡 勅傳正なる也

當國中佛欄

金山寺

三野ニ立社 古殿百六十石

安養院

長山ニ立社 古殿百六十石

蓮花寺

長山ニ立社 古殿百六十石

妙光寺

大旗村ニ立社

備前國中津川 卷之三十三 弘治四年

佐治國中名心記

神村山

名不集 2 出 7 1

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

大徳氏 佐治國中名心記 佐治國中名心記

出のれせと 佐治國中名心記 佐治國中名心記

小徳 佐治國中名心記 佐治國中名心記

半宗 佐治國中名心記 佐治國中名心記

友平の波 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

佐治國中名心記 佐治國中名心記 佐治國中名心記

大目中山陽道

備中國 佐列

上管 佐治國中名心記 佐治國中名心記

下道 佐治國中名心記 佐治國中名心記

英 佐治國中名心記 佐治國中名心記

無行高 佐治國中名心記 佐治國中名心記

當國 佐治國中名心記 佐治國中名心記



安藤 對馬守重孝

河内之記
 江戸所居安藤村
 同中川之下 日下
 京初山本村 油小路 家下町
 同吳服所 安藤村



安藤 長門守重良

河内 安藤村 跋河宮妹
 安藤又市
 利武子
 安藤又市



右安藤氏家系

藤原重信 對馬守重長

重元 肥後守 重良 壹岐守
 其九郎左衛門 其 内藏丹波守
 丹羽左太夫室 女子三人
 重治 對馬守

重孝 對馬守重孝

池田 依中守長幸
 元和三年 六万石

同 出羽守
 貞永十三年 八万石

同 左京亮勝家
 同 安房 對馬守重治
 元禄七年

同 足利 森之 沖波主
 四万五千石

木下 肥後守圓定

河内 安藤村 下町
 同中 安藤村 下町

右木下氏家系

豊臣利直 肥後守 利宗 宮内女
 利貞 淡路守 利貞 淡路守
 利春 伊豫守 利長 佐伯守
 其 武部 豊後目出領主

同日庭遊之水館主 伊予五百七十七里

松平中務女納信通 山村康子 若山九左

水内室板倉月陽守妹 伊予屋敷 本引下 日向

御行地元 金 〇〇〇

▲松平中務女納信通 知信任國次女

▲而先松平信重忠信一妻長六年為常列
▲去浦之城主三刀文之右同安房守信吉系
▲信吉守之 四刀右也力少
▲元和三年為
▲上列之孫 城主五刀右
▲元和八年同為丹
▲波羅之城主 同日山城主忠國 同日
▲安永二年同為播磨守 城主七刀右
▲同日向守信之 六刀右也 他子石口信吉
▲延享七年大和國郡守 亦久 七刀右也
▲貞享三年同為下河内城主 八刀右也
▲同日向守忠之 同日
▲元禄七年 月分松平
中務女納信通依中國庭遊遊步 為高

▲石松平氏御家系
源利長 波四郎 信一 伊豆守 信吉 伊豆守 伊豆守

忠明 伊賀守 忠勝 伊賀守 信之 日向守 女子 日向女正室

其 伊賀守 忠易 伊賀守 信重 忠之 日向守 女子 波四郎

其 其 石松 其 下野守 忠之 日向守 女子 日向守

其 善備門 其 松平代 女子 五人 信通 齊宮 女子 中務納

内藤左京亮室 松浦肥前守室 本多備前守室 保科越前守室 松平伊賀守室 植村出羽守室

同日川邊之御館主 日向八百八十二里

信原氏御館長祐 波也治之友 尾崎治之友

水内室 本下太盛の女之孫 日向 日向守 日向 日向守

日向 日向守 日向 日向守 日向 日向守 日向 日向守

日向 日向守 日向 日向守 日向 日向守 日向 日向守

▲右御家系 藤原長實 丹後 長治 大御 長貞 信濃守 長祐 民部 女子 遠山和泉守室

日向 日向守 日向 日向守 日向 日向守 日向 日向守

備中國中神社

吉備津宮

一宮

社領百六拾石

祭神 吉備津武彥命 佐原佐千

佐原二箇圃一宮也

人皇第七代孝靈天皇三世乃皇孫

佐津命也此後日本紀と傳云紀七卷

世りと云、外北流と稱する此界

風去紀乃云、天武天皇御時、

小川より大瀬川と名づく川乃あり吉備

連日子乃云、志り此三世乃王に故不之

と稱く云々、神祇正統系小伝人皇世

代推古帝即位元年小現座一多り

と云々、社領百六拾石

▲本宮 孝靈帝 御三子 ▲本宮 吉備武彥

▲岩山 地皇神 御七子 ▲内宮 孝灵皇后 同上

▲新宮 吉備津彥 御殿南 ▲倉敷 中野村

傳云、孝靈帝御時、

此と云々、乃吉備と云々、

漏れて云々、

▲文德帝 仁壽二年二月、

社領百六拾石、

▲神位 貞觀元年正月廿七日二品 神階祀

松山神社

八幡文

富士権現

同國佛摺

兼師古 真言

金剛院 真言

河津院 真言

源貴院 真言

本宮 兼師古 兼師古 兼師古

日所立 大林院 日所立

日所立 西光寺 日所立

中野村 立

同國中名所

岩根山

岩根山

岩根山

岩根山

岩根山

岩根山

岩根山

岩根山

岩根山

岩根山

岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

岩根山 一の村 岩根山

正木乃山

▲村名 正木乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 正木乃山のそとにあり

松系乃山

▲村名 松系乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 松系乃山のそとにあり

あり乃山

▲村名 あり乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 あり乃山のそとにあり

いばの中山

▲村名 いばの中山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 いばの中山のそとにあり

いば山乃尾

▲村名 いば山乃尾のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 いば山乃尾のそとにあり

高井

▲村名 高井のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 高井のそとにあり

吉今

▲村名 吉今のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉今のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

吉乃山

▲村名 吉乃山のそとにあり 隆徳
▲村名の由来 吉乃山のそとにあり

▲右彼中国分

▲彼中国中居物出所

▲小菊紙 ▲漆 ▲夏袴 ▲柳花表
▲帝釈天 ▲金山 ▲石

大日本山陽道

八ヶ国

大日本山陽道 八ヶ国

備後國

佐列

上愛十日部系二河
余亦二河部系一河
備後國

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

知行高廿三万八千八百

當國福山、津城

江戶六百九十四里
四千里大坂每里

水野養作守勝重

江戶六百九十四里
四千里大坂每里

水野

水野

水野



水野

水野



水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

備後國

佐列

上愛十日部系二河
余亦二河部系一河
備後國

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

備前

知行高廿三万八千八百

當國福山、津城

江戶六百九十四里
四千里大坂每里

水野養作守勝重

江戶六百九十四里
四千里大坂每里

水野

水野

水野



水野

水野



水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

水野

清光源聖但子長晟二男因懷忠去
日武於大胸長忠 日去作也去澄 去安
去信去二男 和俊乃高市城也
▲大市系系系列廣福しれを去一系

同日三原之御城主 大坂子母路七十五里
陸日形

後野甲斐守忠義
廿七の二万七千石

▲備後國中神社之始

渡社

派陽社鞠三有リ

▲祭社 龍王金 後田大社也ト記五部流
傳云社功皇后三韓進治由發乃内以
浦光社職とと久之社職と積と久之社小
渡乃地中ノ社乃龍以社ノ社也
の亦玉社と社たまり以社此と社云

渡陽社

大田所 号福社

▲祭社 三座 山城國祇堂と同日

祭六月十四日 社乃後後同古記也
社縁福列慶峯の祇堂と同日と
後後國亦於て渡陽社ト云と云

吉使津宮

府中三座 後中國吉使津宮
八幡宮 福山三座 白川院 兼保年中建也

若宮控院 社乃社 ▲祭社 福新の社
後後縁院乃社云 社堂乃由之社

敷社乃社

社社村 ▲祭社 大巳尊也

不効寺

福山三座 本堂乃木也

福壽院

三原三座 兼保寺 福山三座

如來寺

福山三座 吉祥院 社中村

妙光寺

三上社

▲備後國中各所之始

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

志々山

常世

月半浦 乃小出幸り
乃小出幸り

▲當國名物出所
▲櫻丸
▲櫻丸
▲櫻丸
▲櫻丸

大日方山陽道 八首川白

安藝國 要列

山陽八郡古水二日米
山陽少之枝木赤芥
田敷三方七千八十町

備前 備前 備前 備前
備前 備前 備前 備前
備前 備前 備前 備前

當國廣島之津城之

鞆安藝守總長

此城回格二万六千五百
此城回格二万六千五百
此城回格二万六千五百



松平佐後守右長



松平安茂書光知後任四ノ次

此城回格二万六千五百
此城回格二万六千五百
此城回格二万六千五百

右松平氏神龜末

源長政

淡路守

幸長

紀伊守

長晟

備前守

光晟

長治

長照

長重

宋女正

長尚

内匠次

長治

長照

長交

宋女正

長矩

女子三人

長澄

長照

某内記

某

某

某

某

某

某

某

其集人

某

某

某

某

某

某

某

經晟

侍從

經長

侍從

某

某

女子四人

長澄

土佐守

備後

三次領室

松平攝津守室

戸次能登守室

他若越前守室

小笠原遠江守室

當國差之由次

毛利右馬次輝元

當國五年 四十九年

福海左衛門正則

元和五年 甲子六十

浪野但馬守長晟

三十七年 丙子

松平安遠守光晟

外共右左衛門

同 彈正大藏經晟

同

同 安遠守長晟

同

廣馮社

社人 社務

安藝國中社之由

祭神

市井

南國一宮

天照大神 素戔嗚尊乃八坂瓊之曲玉

是乃漏下若くは乃く日本紀乃三女

惟在天皇乃五年十一月十日合人

神職と云ふ細竹友兼乃乃乃乃乃乃

廻しひの西方より紅乃北乃乃乃乃乃

乃中乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

付乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

更乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃上同年十月廿八日... 官史... 社頭... 酒中... 盛衰也

安藝執云之國... 乃上同年十月廿八日... 官史... 社頭... 酒中... 盛衰也



安藝執云之國... 大鳴神

晴よりく疎ふもことゆるふ麻さう
らふれい山中の麻麻鳴茶ふ麻坊り聖
物末なるんじりあきさうりふ坊り何ん
如ん人もい社あつらん乃とひひりそを
P坊りく坊り 撰集抄

▲此社遷建之権右天皇に依りて後年の
徳治再興も弘治二年の法隆寺遷
成之時長久と又長小毛新大に先就
遷立百八十乃此社あり

瑞神宮 安藝郡 廣徳郡 日向郡あり

徳治寺 六月十七日乃長久乃まより
此寺再興之徳治寺中史後後後後

狭之宮 日向郡 林武天皇はつり此

八幡宮 廣徳 正親町院之遷年中 日向郡
日向 建武元年依後後後後

天満宮 日向郡 建武元年依後後後後

日向佛園

竹林寺 号星山 聖武天皇は勅教す用山乃基

龍名寺 真言 廣徳 崇法院 祿宗 言田

海徳寺 祿宗 廣徳 崇法院 祿宗 廣山

國徳寺 祿宗 廣徳 崇法院 祿宗 上白木

廣徳 此社は日向の山にありて

此社は日向の山にありて

此社は日向の山にありて

此社は日向の山にありて

此社は日向の山にありて

安藝國中名物出所

紙袍 廣徳 葛粉 塩鴨 水晶

雷陣 廣徳 蒲葺 塩鴨 水晶

野徳濱細 西條柿 鳥成山茶 法只紙 才儀

大日女山陽通 八箇國之月

月陽國 防列 上長六段東西三日
長六段東西三日
長六段東西三日

去産休國小十儀す結とひく屋と結す

中上國八 田七千六百七十七丁

佐波府 熊文又 大橋 秋實
那波 吉茂

知行高橋六万四千五百廿八

當國漁山沖飲食 江戸今二百五十一里陸之
大坂今每海百半里

毛刺能彈守元次 栗原丹次
神谷羽盛

内内至森英他吉松 橋井源八
江戸吹屋敷 芝二面
同下 志也

三平九三のけ 柳井源八
比元

右由系必長門國疾山波主一系

周防國中神社

玉祖大御神 佐波能之 當國一吏
祭神 玉原余 伴特能善男 一夫化

高峯宮 兼及殿山口二有リ

祭神 伴特能志林宮也

社名 社名 當所内外乃二長久永云
十七年十一月上旬大内多々良能長良
三位左系是是良具及乃云云
伴野國度遇教より當國高峯宮に遷り

山神社 祭神 年次天王 社名 社名
山神社 社名 社名 社名 社名

年中以疫疾查行志々國民斃死甚る
社名 社名 社名 社名 社名

朝倉宮 社名 社名 社名 社名

便吉神社 社名 社名 社名 社名

當國佛欄 社名 社名 社名 社名

善波井堂 社名 社名 社名 社名

海峯院 社名 社名 社名 社名

岩園寺 社名 社名 社名 社名

月防國中各所

岩岡山

石向して高きこと奇なり
安藝國の山なり海に近きなり
小方と云ふ所あり小川行きて小湫川なる
あり用防乃らる小湫川より東へ大山
あり凡そ岩岡と云ふ海多し岩岡の目
長物 榎木引 山あり

新の橋

石の橋 笠岡の橋

竹橋

竹の橋 笠岡の橋

鳴門の橋

鳴門の橋 笠岡の橋

かろ乃浦

かろ乃浦 笠岡の橋

勝名浦

勝名浦 笠岡の橋

のひらの池

のひらの池 笠岡の橋

宝蔵

宝蔵 笠岡の橋

月防國中各物出所

山代米紙

山代米紙 笠岡の橋

山口の漆

山口の漆 笠岡の橋

右月防國分

大目か少湯道

八箇國の内

長門國各所

長門國各所 笠岡の橋

何成 尺格

何成 尺格 笠岡の橋

知行高橋三万石又橋九石

知行高橋三万石又橋九石 笠岡の橋

當國森ノ沖城

當國森ノ沖城 笠岡の橋



松平大膳太夫吉廣

元和世六万九千四百石



九号

先毛利中納言輝元初安藤四

毛利

右松平民御家系

大江豊元

隆元

輝元

秀就

元春

廣家

女子

元賢

隆景

廣正

就清

元次

秀秋

廣猶

先廣

女子

元清

秀元

經元

元倚

元和

元武

女子

匡以

女子三人

元平

女子三人

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

長府之神城

江戸三百六十里余

毛利田原家信元

細川氏内

毛利氏

内長角氏

毛利氏

村野氏

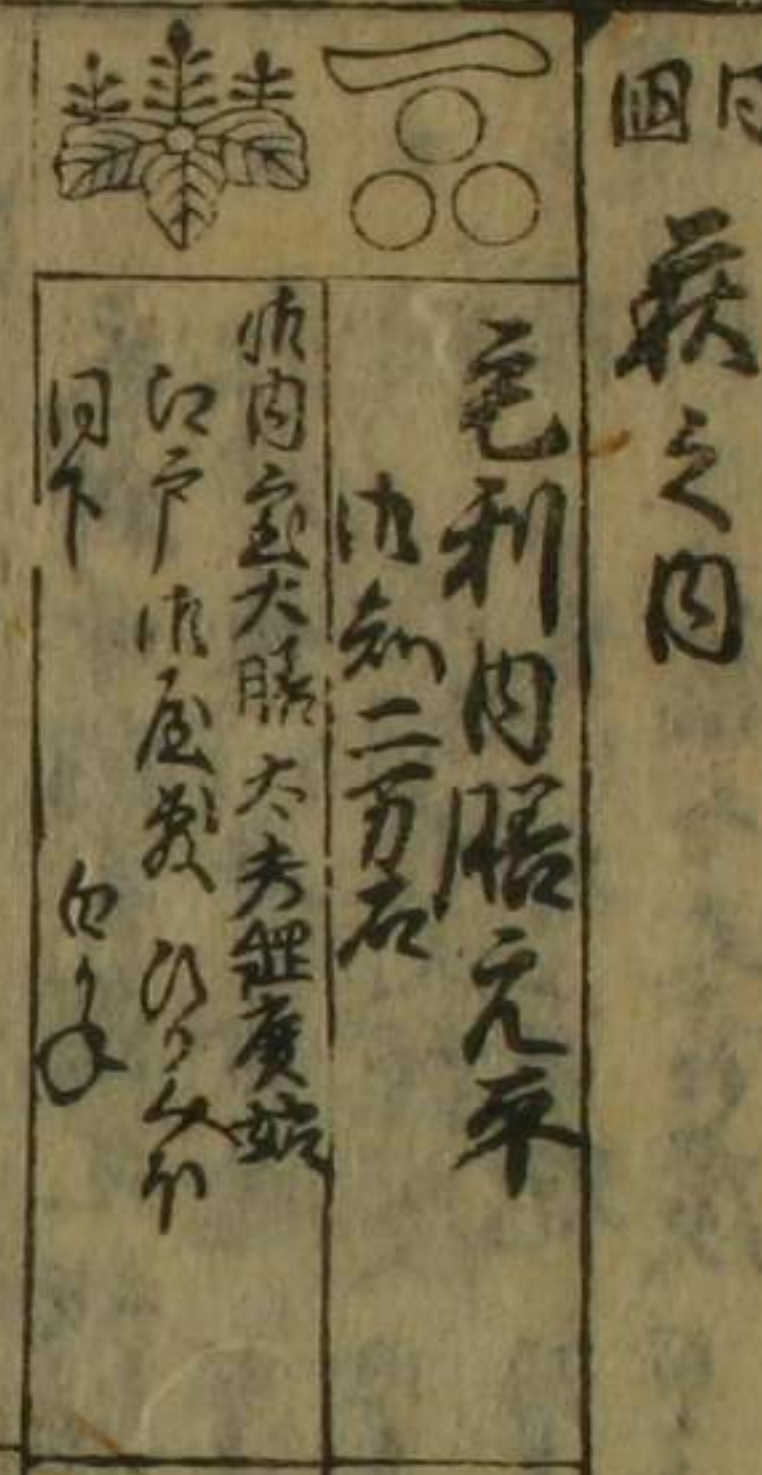



長門國中神社

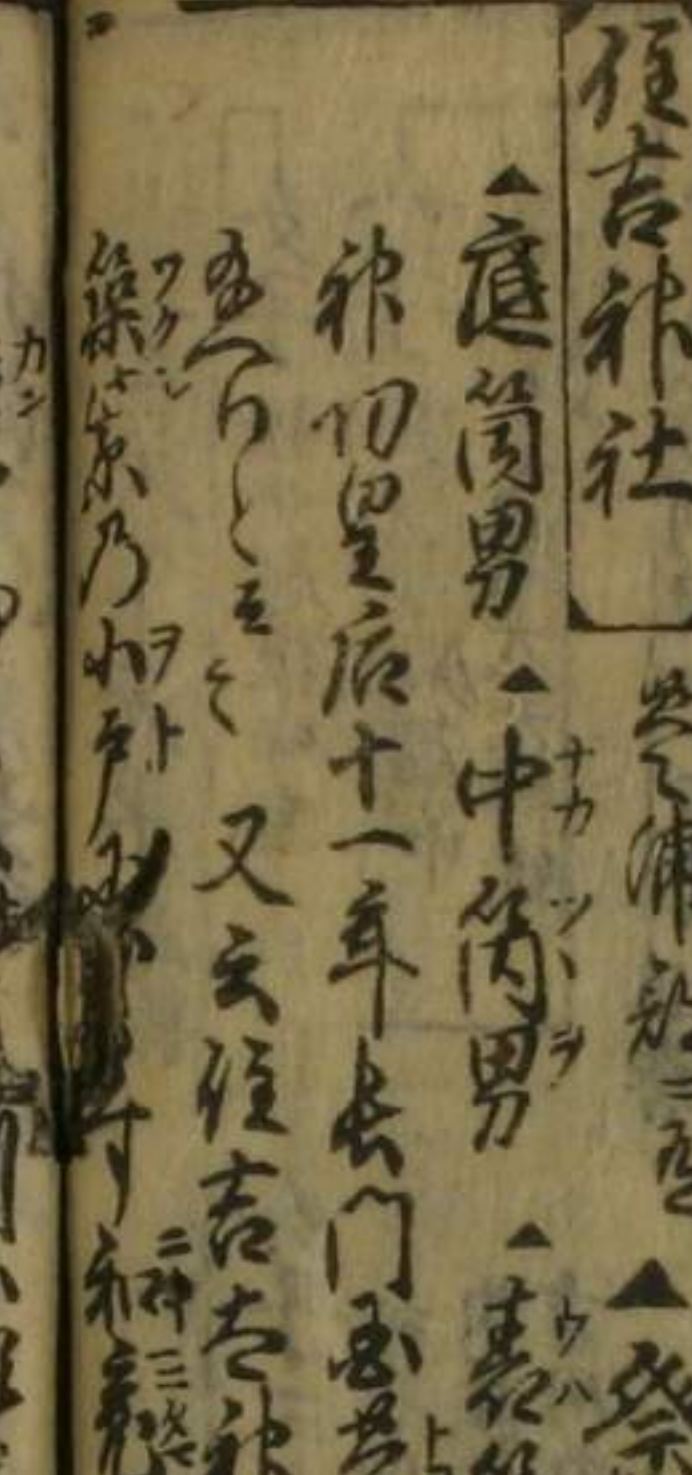
 三座
 9元

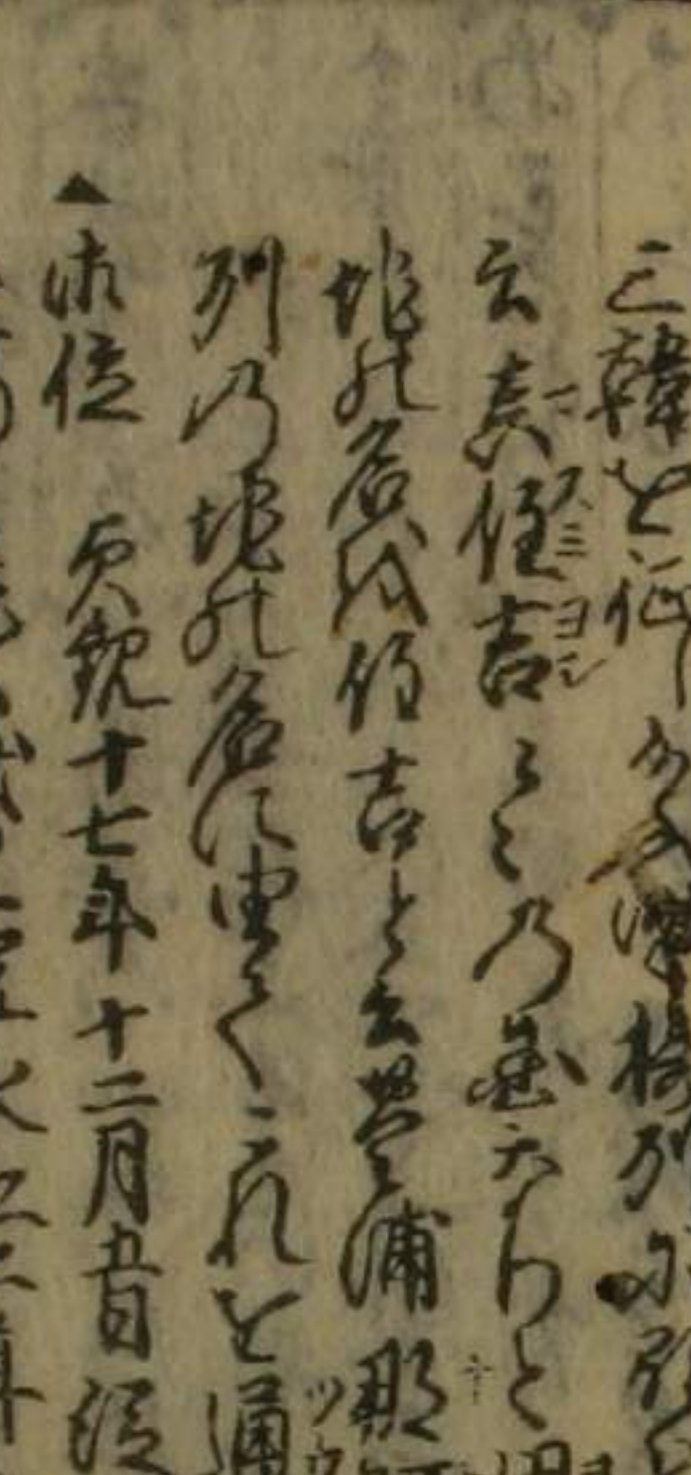
毛利石系太史元研

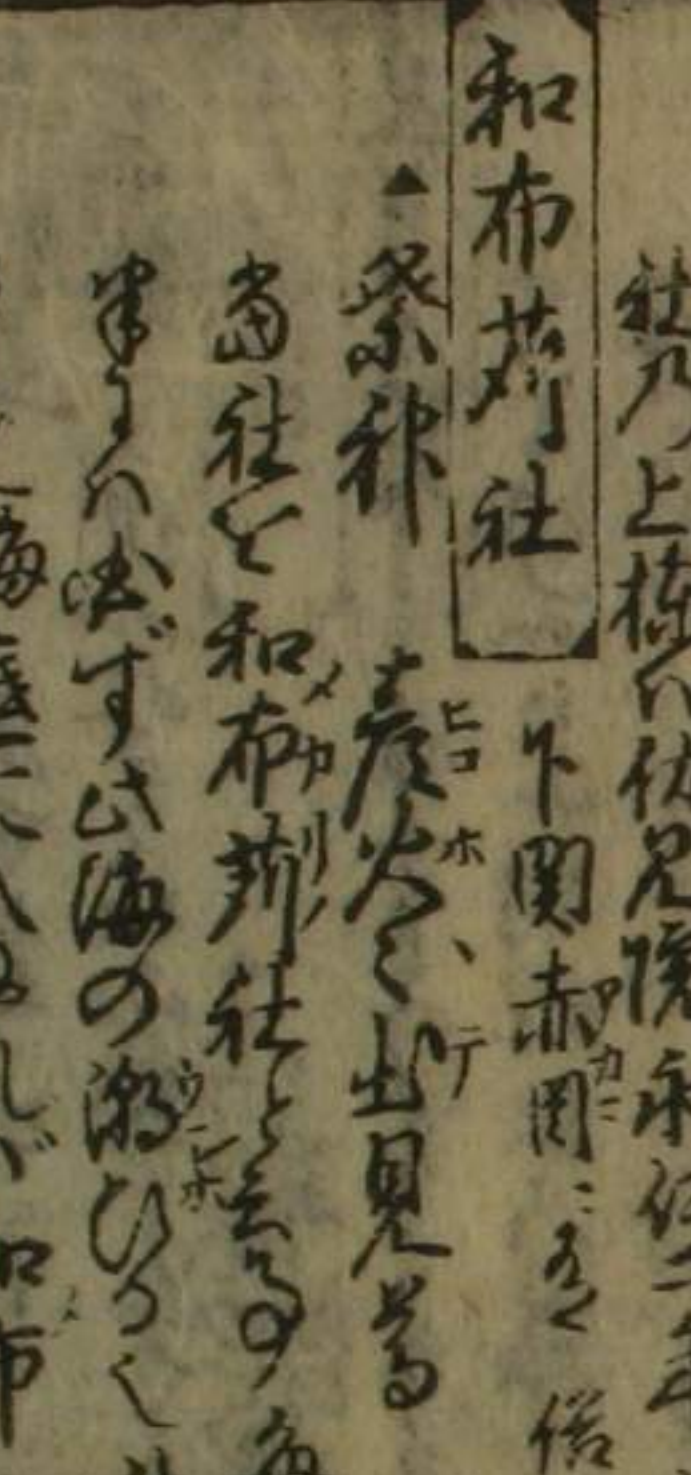
 山城
 宮城
 相人
 七日
 9元

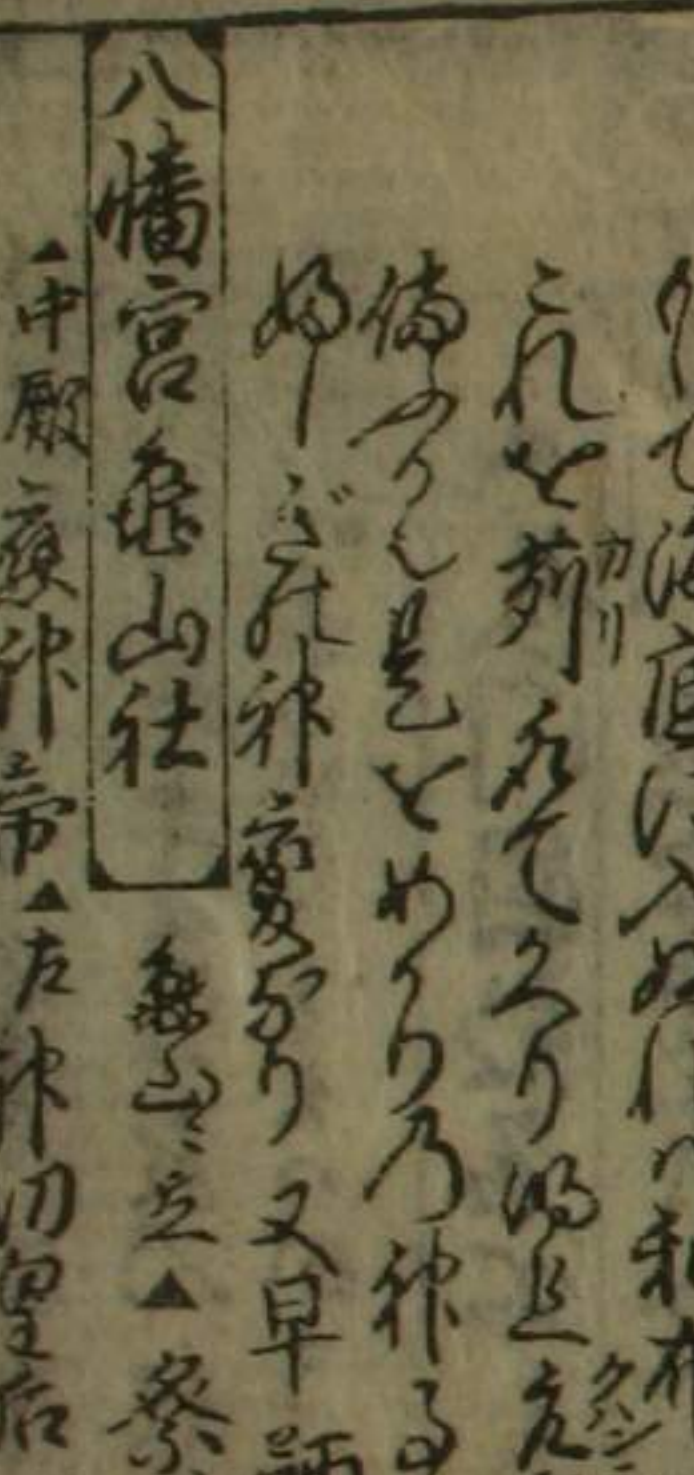
同日 疾之因
 毛利内膳元平

 内膳
 内膳元平
 後学
 5元

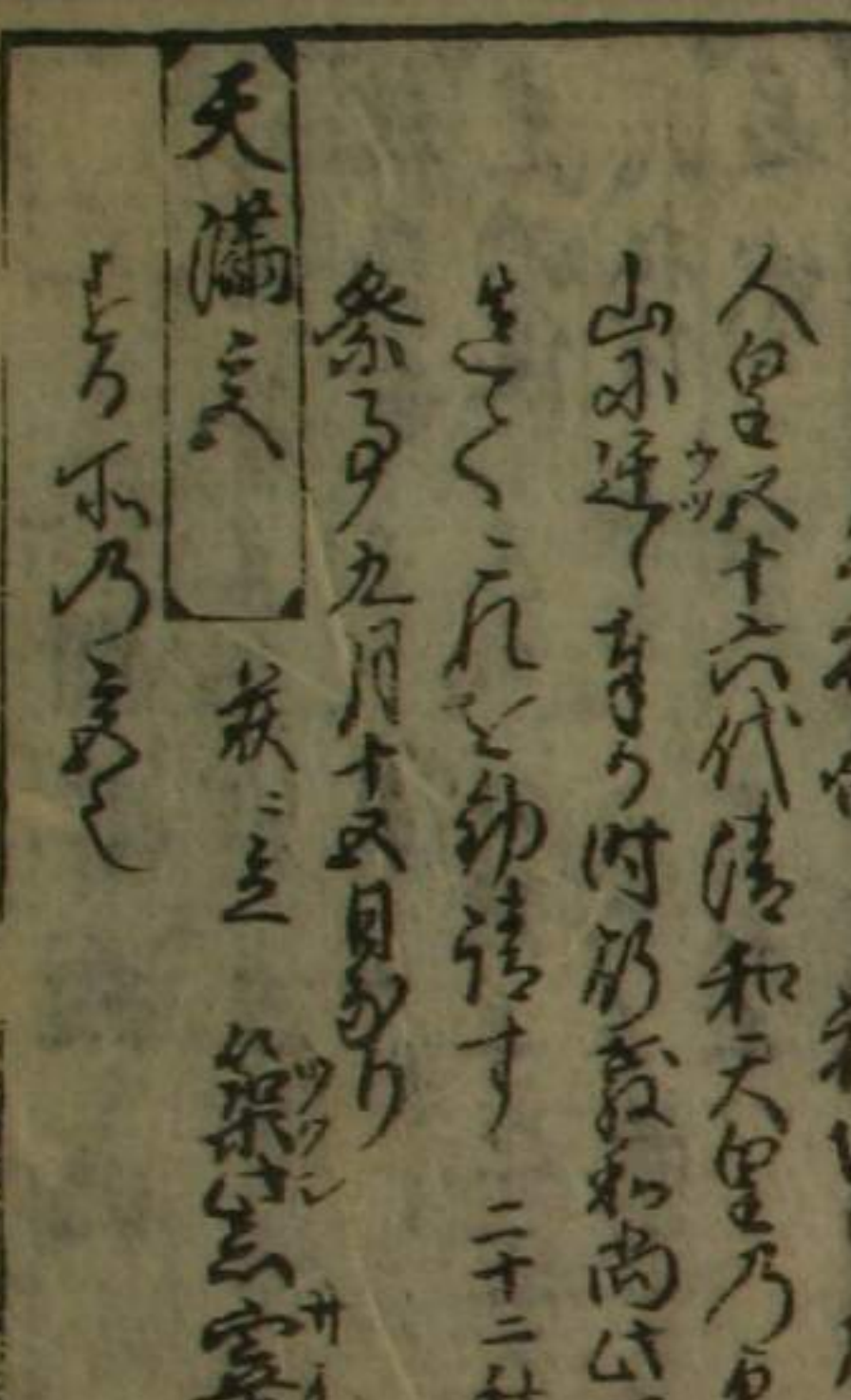
長門國中神社

 三座
 9元

復吉神社

 三座
 9元

和布神社

 三座
 9元

八幡宮

 三座
 9元

天満宮

 三座
 9元

天満宮

 三座
 9元

長門郡

六

外宮寺 志云 蘇直後云此門院 文治年中
 筑之 本寺十一面観音
 筑之 本寺十一面観音
 光徳院 志云 本府立弘法大師用基所
 凡松院 縁宗 凡松立後深茶院 建治元年
 中川村立
 長樂寺 縁宗 下実立 尚方以安徳天皇乃
 此院を此外平氏一統乃親像立平家
 物語小末乃かよふけちのなる

長門國船名所

西船山

各不集出たり

坂上而女

赤乃の里

七里山 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

安武乃松原

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

赤乃の里

赤乃の里 赤乃の里と云り山と云り

あす ころりせ、三里

ころりせ 月列考 五、四里半

国列考 取 山城下、是より系を長登越 四、三里半

▲ 松平園 長山 御者山 念吉、七

長山、五里 金川、福より、四里

長列福流り、大庄、五里 大庄、新所、二里

新所、一里 一里 一里、二里

あか野、一里 御者山、四里

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

長山、福より、二里、とまき

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

▲ 長山、福より、二里、とまき

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

▲ 長山、福より、二里、とまき

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

▲ 長山、福より、二里、とまき

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

▲ 長山、福より、二里、とまき

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

▲ 長山、福より、二里、とまき

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

▲ 長山、福より、二里、とまき

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

▲ 長山、福より、二里、とまき

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

▲ 長山、福より、二里、とまき

▲ 長門國中名物出所

▲ 長列福流り、依波戸川、七里、とまき

▲ 長山、福より、二里、とまき

